

裁判所構成法戰時特例中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和十八年十月二十七日(水曜日)午前十時五分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 開會致シマス、議案三案ハ何レモ關聯ヲ致シテ居ルヤウニ考ヘマスルカラ、質疑應答ハ一括シテ進メテ行ツテ戴キタイト存ジマス、御質問ガゴザイマスレバ……

○山岡萬之助君 私ハ二、三簡單ニ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、委員長チヨット速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ

○山岡萬之助君 民事ノ統計ガ御提出ニナツテ居リマスガ、其ノ三條ノ事件數ノ說明ニ於テ、裁判ニ對シテハ不服ヲ言フ數ガ割合ナイヤウデアリマシテ、是ハマア結構ナコトダト考ヘマスルガ、之ニ牽聯シテ意味ニ於テ、控訴審ニ於テ裁判ノ變更サレタ、即チ原審ト變ツタ裁判ヲサレタト云フ數ハドノ位ノ比數デアリマスルカ、御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(齋藤直一君) 控訴審ニ於キマシテ、原審ノ判決ガ取消サレタリ變更致シマシタリシテ數ニ付テ、申上ゲタイト思ヒマスガ、先ヅ區裁判所事件ニ付キマシテ、其ノ控訴審タル地方裁判所ニ於テ、只今申上ゲマシタヤウナ取消變更セラレマシタモノハ、昭和十七年度カラ過去五年ニ遡リマシタ其ノ平均ヲ取ツテ見マシタ處ガ、控訴ノ新受總件數四千九百四十五件中、判決迄ス

ルニ至リマシタモノガ二千二百四十九件其ノ判決ノ中デ取消サレ或ハ變更ヲ受ケマシタモノガ七百九件デ、之ヲ控訴判決ノアリマシタ件數ニ比率ヲ取ツテ見マス、三割一分ト相成リマス、次ニ地方裁判所第一審事件ガ、控訴院ニ於キマシテ、其ノ控訴審デ取消又ハ變更セラレマシタモノハ、只今ノ同ジ五年前ノ平均ヲ取ツテ見マシタ處ガ、控訴院ニ控訴セラレマシタ總數ガ二千七百五十七件ノ中、判決迄參リマシタモノガ千三百九十件、其ノ中取消又ハ變更ニナリマシタモノガ三百七十六件、之ヲ判決ノアリマシタモノニ對シテ比率ヲ取ツテ見マス、二割七分ニ相成ツテ居リマス

○次田大三郎君 チヨット只今ノ數字ニ牽聯シテ……只今ノハ民事デスカ刑事デスカ

○政府委員(齋藤直一君) 只今ノハ民事訴訟デゴザイマス

○山岡萬之助君 次ニ御尋ネシタイコトハ、訴訟物ノ價格ヲ二千圓ニ引上ゲマシテ、即チ千圓ヨリ二千圓ニ變ヘラレタノデアリマスガ、今日ノ物價ハ相當高クナツテ居リマシテ、其ノ比數カラ考ヘルトモツト高イモノニナルノデヤナイカト思ヒマスルガ、ドウ云フ標準ヲ以テ此ノ二千圓迄ニ上ゲラレタノデアリマスカ、何方其ノ標準ガアツラ承リタイ

○政府委員(大森洪太君) 御承知ノヤウニ今日ノ標準價格ハ千圓ニナツテ居リマス、是ハ大正十四年ノ改正デアリマシテ、當時ノ經濟價值カラ較ベマス、御説ノヤウニ

此ノ二千圓ハ更ニ増額シテモ宜イヤウニ存ズルノデアリマス、併シナガラ此ノ案ニ於キマシテハ、民事ニ付キマシテモ控訴審ノ省略ヲ致スト云フコトニ相成ツテ居リマスルカラ、控訴審ハ全般的ニ省略ヲ致シマシテ、而モ尙且區裁判所ノ權限ヲ餘リニ擴大致シマスルコトハ如何デアラウカト存ジマシテ、旁、以テ二千圓ノ程度ガ今日先ヅ結構デハナイカト、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

○山岡萬之助君 上級審ノ事件ヲ下級審ニ委讓シタコトハ、今御説明ニナツタ民事バカリデナク、刑事ニ於テモ相當委讓サレテ來タノデアリマスガ、是ハ勿論司法ノ簡素ヲ圖ル爲デ、時局柄必要ニ出デタコトト考ヘマスルガ、其處ニ結附イタ問題トシテ起キテ參リマスルノハ、司法官ハ一定ノ資格ガナケレバ職務ニ就キ得ナイ素質ヲ持ツテ居リマスルノデ、手不足ヲ生ジタ場合ニハ、非常ニ困難ヲ來スノデアリマス、茲ニ於テ戰時下内政ノ根本改革ト云フコトカラ、定年制等ハ廢メルト云ウタヤウナコトガ唱ヘラレテ、耳ニ致シタノデアリマスルガ、司法官ノ定年制ト云フモノハ、明治ノ最初ニハ若キ裁判官、檢察官ガ其ノ職ニ就イタノデアリマスルガ、ソレヨリ二、三十年ヲ經テ、全ク裁判ノ運用ト云フモノニ困難ヲ來シテ、終身官ノ保障ガアリマスルガ故ニ、如何トモ仕樣ガナイ譯デアリマス、非常ニ困難アルニ拘ラズ、定年制ヲ制定シ、ソレガ成立シテ行ヒ來ツタコト既ニ久

シイノデアリマスガ、是ハマア法律ニ依ルコトハ勿論デアリマシテ、法律ニ依ツテ居ルノデアリマスルカラ、單純ニ政府ノ都合デ變ヘルコトノ出來ナイモノデアアルコトハ、申ス迄モナイノデ、從ツテ之ヲ彼此動カスト云フコトハ容易ニ、即チ輕率ニハ出來ナイコトデアリマスルケレドモ、今之ヲ何フ必要モナイカモ知ラヌノデアリマスルガ、何サマ、社會總テノ事態ヲ改革スルト云フ時デアリマスルノデ、茲ニ此ノ點ハ私ハ司法部組織トシテハ非常ニ重大ナモノデアアルカラシテ、私ノ考トシテハ、是ハ今日ノ事態ニ於テ動カスベキモノデナイヤウニ思フノデスガ、司法當局ノ御考ハドノ邊ニアリマスカ、又目前ノ問題デナシニ、相當向フヲ見タル考ヘ方ヨリ、司法大臣ノ御説明ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○國務大臣(岩村通世君) チヨット事務的ニナル點モアリマスカラ、次官カラ先ヅ御答ヲシテ、ソレカラ私カラ補足致シタイト思ヒマス

○政府委員(大森洪太君) 只今御示ノ點ハ、御説全ク御同感デアリマス、司法官ノ定年制度ノ問題ニ付キマシテハ、事極メテ重大デアリマシテ、司法部ニアリマシテハ、其ノ職掌ノ性質、又司法ノ人事行政ノ運用ノ點カラ申シマシテ、極メテ根本的ナ重要ナ問題デアリマス、左様ナ點ニ鑑ミマシテ、私共ハ今日定年制度ハ、司法部ニ關スル限り、現行制度ノ儘之ヲ存置シテ貫ヒタイ積リデアリマス、又今後ノ事情ノ激變ト

云フヤウナコトモ考ヘラレマスルケレドモ、相成ルベクハ今後ト雖モ此ノ儘存置シテ行キタイ、斯様ニ存ジテ居リマス、即チ定年制度ハ、我々ノ先輩……大先輩ノ、多年ノ研究ノ結果、創設セラレタル問題デアリマスルカラ、勿論今日戰時ニ於キマシテ、相當種々ノ事情ガ變更ニナツテ居リマスルケレドモ、是ハ持續シテ行クベキモノ、又持續シテ差支ナイモノ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○國務大臣(岩村通世君) 只今次官カラ答

ヘラレタ趣旨デ盡キテ居ルト思ヒマスガ、一番考ヘナケレバナラスノハ、此ノ人員ノ補充ガ附カカ付カヌカト云フ點ガ問題ニナラウト思ヒマスガ、現在ニ於テハ此ノ點ハナイト思ヒマス、ト云フノハ、只今此ノ前ノ行政簡素化ノ整理ニ依リマシテ相當司法部ハ過員ヲ持ツテ居ルノデアリマス、司法部ノ職員ハ御承知ノ通り身分保障ガアルモノデアリマスカラ、勅令ニ依ツテ過員ハ矢張り其ノ儘職員トシテ其ノ職ニ就イテ居ルコトガ出來ルト云フ特例ヲ特ニ設ケテ居ルノデアリマス、相當ノ過員ガゴザイマスカラ、非常ナ事情ノ變更ガ今後生ズレバ特別デアリマスガ、只今ノ處デハ停年法ハ存置ラシテ、職員ノ補充等ニハ差支ナイト云フコトノ見透シヲ付ケテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○山岡萬之助君 只今御説明デ能ク諒承致

シマシタ、御話ノ通り定年制ハ司法部ノ相當ノ根本制度デアリマスノデ、私ハ將來ノコトハ今カラ無論豫測ノナラスコトデアリマスガ、結局事件數ト司法官ノ數トノ關係ニナリマス、手續ヲ簡素ニスル點モ、此ノ度ハ略式手續ニ及ンデ居ルノデアリマスガ、

尙其ノ他今日裁判官ガヤツテ居ルヤウナコトモ、其ノ他ノモノニ委讓出來ルコトモ、考ヘレバ相當ニ出ルト思フノデアリマス、必要トアレバサウ云ツテ簡素ヲ圖リ、而シテ若シ足リナケレバ民間人ガ相當居リマスカラ、民間ヨリ相當數採用セラレ、斯クノ如キ根本ノ制度ハ今御話ノ通り堅持セラレ、コトヲ希望致シマシテ、其ノ問題ハ其ノ程度ニ致シタイト思ヒマス、次ハ民事特別法ニ關シマシテ一點御尋ヲ致シタイト思ヒマス、事實ノ重大ナル誤認ニ付テ上告ヲ許サレル新制度ヲ立テラレタノデアリマス、是ハ誠ニ結構ノヤウナ規定デアリマスガ、新制度ノ上カラ申シ、運營ノ上カラ申セバ、可ナリ重大ナ結果ガ生ズルト思ヒマス、元來刑事訴訟法ニ於テ上告裁判所ハ事實ノ重大ナ誤認ニ付テ審判ガ出來ルコトノ規定ガ現行法ニ於テ立テラレタノデアリマス、此ノコトハ一體立法ノ際ノ行過ギデアツテ、上告審ニ於テ法律問題ヲ審理スル、審査シマシタ時ニ、其ノ審査ニ伴ウテ原裁判所ハ非常ナ誤リヲシテ居ルト云フコトヲ發見シタトキニ、其ノ以前ノ制度ニ於テハ如何トモ仕方ガナカッタ、斯クノ如キコトヲ見出シタ時ニハ、取ツテ以テ原審ヲ是正シ、正義ヲ確立スルト云フコトガ望マシイト云フノデ、段々ト調査ガ進ンデ、遂ニ上告理由ニ迄ナツテシマツタ、事實ノ誤認ヲ上告審ニ訴ヘルト云フコトハ、是ハ本質的ニハドウモ適當ナ審級デナイ、サウ思ハレルノデアリマス、ソレハ勿論上告審ト雖モ、非常ニ誤ツタ裁判ヲ其ノ儘看過スベキモノデハナイ、是レ故ニ上告審ニ於テ自ら不適當ト考ヘタ時ニハ是正スルコトハ、是ハドチカラ見テモ尤モト思フノデアリマスガ、事實ノ誤認ヲ上告

理由ニシテ、其ノ上告理由ニ對シテ上告審ハ一々……事實ノ誤認ト云フコトデアレバ幾ラデモ上告理由ガ書ケル、ソレニ對シテ上告審ハ説明ヲ與ヘルト云フガ如キコトハ是ハドウモ徒ニ上告審ニ適當ナラザル負荷ヲ與ヘ、サウシテ本質的ナ法律ノ違法ヲ正スト云フコトガ、疎カニナリマスノデ、非常ニ面白クナイコトト思ヒマス、私ハ刑訴法ニ於テハソナナ風ナ考ヲ持ツテ居リマス、刑訴法ハ寧ロモウ少シ正スベキ部分ガアルノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ矢先ニ民事ニ於テ斯クノ如キコトヲ許サレルト云フコトハ、果シテ適當ナリヤ否ヤ、今控訴ノ手續ヲ是正サレタ御説明モアリマシタガ、相當部分迄ハ原審ヲ變ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フコトモアツテ重大ナ誤認ハ上告審ニ於テ見ルノデ、斯クノ如クナツタト思ヒマスガ、ドウモ上告審ノ趣旨トシテサウ云フ風ニ行クト云フコトハ適當ナモノデナイト考ヘマス、私ハ寧ロサウ云フ場合ニハ、一度審理ハ終結シテ、上告審ハ上告審トシテノ職能ヲ發揮シテ、若シソレニ非常ナ間違ヒガアルト云フヤウナ場合、上告審ガ取ツテ以テ正スト云フコトハ、是ハ認メテ宜イト思フ、ダカラ原案ノ如キデナク、サウ云フ程度ニハ是認サレル、其ノヤウナコトデアルナラバ、再審制度、ドウモ非常ニ間違ッテ居ッタラ再審ヲ以テ、其ノ方ヲ擴大シテ行ッたら、ソレで行ケルノデヤナイカ、ソナナ風ナコトヲ考ヘマスガ、政府ノ御考ハドウデアリマセウカ、一應御説明ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(大森洪太君) 御示ノ通り上告審ハ原則トシテ法律審デアアルベキコトハ、是ハ其ノ通りデアルト思ヒマス、然ルニ刑

事訴訟法ニ於キマシテ重大ナル事實ノ誤認ヲ上告ノ理由ニシテ、謂ハ、其ノ當時トシテハ破天荒ノ立法ガアリマシタ、然ルニ其ノ後其ノ實績ヲ見テ參リマスルト、是ハ相當良好ナル成果ヲ擧ゲテ居ルヤニ存ズルノデアリマス、勿論裁判ニ法律ノ點トシテモ又事實ノ點トシテモ間違ヒガアルナラバ、是ハ甚ダ宜シクナイコトデアリマスケレドモ、凡ソ裁判ハ事實ノ認定ガ根本デアリマスカラ、其ノ事實ノ認定ノ重大ナル誤認ニ付テ上告ノ途ヲ拓クト云フコトハ、是ハ強チ惡クハナイヤウニ存ジテ居ルノデアリマス、而モ今回民事ニ於キマシテ二審制度ヲ採リマシテ、第一審ダケデ事實ヲ審理スルト云フコトニナリマシタカラ、矢張り事實審理ニ重キヲ置キマスル趣旨カラ致シマシテ、同様ニ刑事訴訟ト歩調ヲ合セマシテ、民事ニ付テモ此ノ途ヲ拓クト蓋シ已ムヲ得ザルコトト考ヘタノデアリマス、即チ是ハ民事ニ付テ二審ノ途ヲ採リマシタ結果ト御了承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、成ル程御説ノ通り上告裁判所ニ於キマシテ事實ノ審理ヲスルト云フコトハ、相當困難ヲ生ズル場合モアルヤニ存ジマス、デアリマスルカラ此ノ案ニ於キマシテ第十條ノ第一項ニ於キマシテハ、上告裁判所自ラ事實ノ審理ヲ爲スコト、此ノ途ヲ拓イテアリマスケレドモ、現行法ノ第四百七條ノ規定ニ依リマシテ、原判決ヲ破毀シ事件ヲ差戻シ又ハ移送スルト云フ途モ拓イテ居ルノデアリマス、自ラ實際ノ運用トシテ此ノ活用ノ方が多クアラウカト存ズル次第デアリマス、サウシテ只今御話ニナリマシタ再審ノ問題モ私共トシテハ調査ヲ致シマシタ、成ル程御説ノ通り再審ニスルト云フコトモ確カニ一

理由ニシテ、其ノ上告理由ニ對シテ上告審ハ一々……事實ノ誤認ト云フコトデアレバ幾ラデモ上告理由ガ書ケル、ソレニ對シテ上告審ハ説明ヲ與ヘルト云フガ如キコトハ是ハドウモ徒ニ上告審ニ適當ナラザル負荷ヲ與ヘ、サウシテ本質的ナ法律ノ違法ヲ正スト云フコトガ、疎カニナリマスノデ、非常ニ面白クナイコトト思ヒマス、私ハ刑訴法ニ於テハソナナ風ナ考ヲ持ツテ居リマス、刑訴法ハ寧ロモウ少シ正スベキ部分ガアルノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ矢先ニ民事ニ於テ斯クノ如キコトヲ許サレルト云フコトハ、果シテ適當ナリヤ否ヤ、今控訴ノ手續ヲ是正サレタ御説明モアリマシタガ、相當部分迄ハ原審ヲ變ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フコトモアツテ重大ナ誤認ハ上告審ニ於テ見ルノデ、斯クノ如クナツタト思ヒマスガ、ドウモ上告審ノ趣旨トシテサウ云フ風ニ行クト云フコトハ適當ナモノデナイト考ヘマス、私ハ寧ロサウ云フ場合ニハ、一度審理ハ終結シテ、上告審ハ上告審トシテノ職能ヲ發揮シテ、若シソレニ非常ナ間違ヒガアルト云フヤウナ場合、上告審ガ取ツテ以テ正スト云フコトハ、是ハ認メテ宜イト思フ、ダカラ原案ノ如キデナク、サウ云フ程度ニハ是認サレル、其ノヤウナコトデアルナラバ、再審制度、ドウモ非常ニ間違ッテ居ッタラ再審ヲ以テ、其ノ方ヲ擴大シテ行ッたら、ソレで行ケルノデヤナイカ、ソナナ風ナコトヲ考ヘマスガ、政府ノ御考ハドウデアリマセウカ、一應御説明ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(大森洪太君) 御示ノ通り上告審ハ原則トシテ法律審デアアルベキコトハ、是ハ其ノ通りデアルト思ヒマス、然ルニ刑

事訴訟法ニ於キマシテ重大ナル事實ノ誤認ヲ上告ノ理由ニシテ、謂ハ、其ノ當時トシテハ破天荒ノ立法ガアリマシタ、然ルニ其ノ後其ノ實績ヲ見テ參リマスルト、是ハ相當良好ナル成果ヲ擧ゲテ居ルヤニ存ズルノデアリマス、勿論裁判ニ法律ノ點トシテモ又事實ノ點トシテモ間違ヒガアルナラバ、是ハ甚ダ宜シクナイコトデアリマスケレドモ、凡ソ裁判ハ事實ノ認定ガ根本デアリマスカラ、其ノ事實ノ認定ノ重大ナル誤認ニ付テ上告ノ途ヲ拓クト云フコトハ、是ハ強チ惡クハナイヤウニ存ジテ居ルノデアリマス、而モ今回民事ニ於キマシテ二審制度ヲ採リマシテ、第一審ダケデ事實ヲ審理スルト云フコトニナリマシタカラ、矢張り事實審理ニ重キヲ置キマスル趣旨カラ致シマシテ、同様ニ刑事訴訟ト歩調ヲ合セマシテ、民事ニ付テモ此ノ途ヲ拓クト蓋シ已ムヲ得ザルコトト考ヘタノデアリマス、即チ是ハ民事ニ付テ二審ノ途ヲ採リマシタ結果ト御了承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、成ル程御説ノ通り上告裁判所ニ於キマシテ事實ノ審理ヲスルト云フコトハ、相當困難ヲ生ズル場合モアルヤニ存ジマス、デアリマスルカラ此ノ案ニ於キマシテ第十條ノ第一項ニ於キマシテハ、上告裁判所自ラ事實ノ審理ヲ爲スコト、此ノ途ヲ拓イテアリマスケレドモ、現行法ノ第四百七條ノ規定ニ依リマシテ、原判決ヲ破毀シ事件ヲ差戻シ又ハ移送スルト云フ途モ拓イテ居ルノデアリマス、自ラ實際ノ運用トシテ此ノ活用ノ方が多クアラウカト存ズル次第デアリマス、サウシテ只今御話ニナリマシタ再審ノ問題モ私共トシテハ調査ヲ致シマシタ、成ル程御説ノ通り再審ニスルト云フコトモ確カニ一

方法ダトハ存シマシタケレドモ、刑事ニ於テ既ニ此ノ事實ノ重大ナル誤認ト云フコトガ上告理由ニナツテ居ルノデアリマスカラ、矢張りハ歩調ヲ合セテ同ジコトニシタ方ガ宜イト考ヘタノデアリマス、再審ト云フ途ハ採ラナクツタノデアリマス、又モウ一ツハ再審ニ致シマス、ドウ云フ理由ニナリマスカ、是ト同ジヤウナ理由ニナリマシテモ事自ラ面倒ニナリマシテ、此ノ再審ニ依ツテ不服ノ申立ラスルト云フコトハ相當窮屈ニナルト云フ虞ハナイカ、斯様ナ點モ考慮致シマシテ刑事訴訟法並ニ致シタ次第デアリマス、右ノ事情ヲ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○山岡萬之助君 次ハ刑事特別法ニ關シテ一二御尋ネシタイト思ヒマス、刑事特別法中改正ノ重點ハ賄賂ノ罪ノ刑罰ヲ加重シタ點ニアルト思フノデアリマス、茲ニ最高無期徒刑ヲ以テ臨シテ居ルノデアリマス、從テ短期ノ相當高イ有期懲役以下ソレノ規定シテアル譯デアリマス、ソレダケノ刑罰ヲ量定シタト云フコトニ關シマシテ、貴族院トシテハ官公吏ノ瀆職罪ハ戰時立法トシテ一般ノ犯罪ヲ加重シタカラシテ加重スベキモノデアルト云フコトガ委員會ニ於テ段段述ベラレテ居ツタノデアリマス、其ノ刑ヲ加重スルコトニ付テハ何等特段ノ考ヘラズル者デハナイノデアリマス、唯之ヲドウ云フ標準ニ依ツテ斯ク規定シタカト云フコトハ、此ノ際明カニシテ置クコトガ裁判官ノ將來ノ此ノ條規ノ運用ノ上ニ相當ナ參考ニナルト思フノデアリマス、前ニ御説明ガ、五年ト云フ懲役刑ヲ科シタト云フ事例ガアルト云フ御話ガアリマシタ、サウ云ツタ關係デ如何ナル事實、如何ナル關係ガアル

ガ故ニ斯クノ如クシタノカト云フ風ナ、是ハ御答ガ相當困難デアルト思ヒマスガ、一應立法ヲサツタ經過等ニ徴シテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大森浩太君) 此ノ案ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ第十八條ノ二ニ於キマシテ單純ナル收賄又ハ之ニ準ズル者、是ガ十年以下ノ懲役ニナツテ居リマス、御承知ノ通り是ハ現行法デハ三年以下デアリマス、即チ三年ヲ十年ニ高メタノデアリマス、第二項ハ稍、重イ方ノ場合、即チ御承知ノ請託ヲ受ケタ場合デアリマシテ、一年以上ノ有期懲役トナツテ居リマス、現行法ガ五年以下デアリマス、即チ之ニ付キマシテハ五年ヲ十五年ニ高メマスルト同時ニ、短期ヲ一年ト定メマシタ、第三項ハ最モ重イ場合デアリマシテ、仍テ以テ不正ノ行為ヲ爲シ、又ハ相當ノ行為ヲ爲サザリシ場合デアリマシテ、此ノ案ニ依リマスルト、無期又ハ二年以上ノ懲役ニナツテ居リマス、是ガ現行法ハ一年以上ノ有期懲役デアリマシテ、此ノ案ハ餘程高クナツテ居ル次第デアリマス、是ガ收賄ノ方デアリマスガ、贈賄ノ方ハ第十八條ノ五デアリマス、是ガ此ノ案デハ五年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ト云フヤウニゲツテ居リマス、御承知ノヤウニ現行法デハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金デアリマス、即チ贈賄ニ於キマシテハ三年ガ五年ニナリ、五千圓ガ一萬圓ニナツタ程度デアリマス、ソコデ私共ノ立案ノ時ノ考ヘカラ致シマスルト贈賄、收賄共ニ重クシナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘタノデアリマスルガ、其ノ中ニ就テモ、特ニ收賄ニ重キヲ置カナケレバナラナイト存シタノデアリマス、今日多數

ノ事例カラ申シマスルト、贈賄者側ニモ確カニ惡質ノ者ガアリマス、甚ダ面白カラザル現象ノ贈賄ト云フモノモ實ハ少クハナイノデアリマス、併シ如何ニ贈賄者側ガ惡質デアリマシテモ、公務員ガ賄賂ヲ取ルト云フコト、是ハ地位ヲ汚スノデアリマシテ、其ノ地位ヲ汚スト云フコトハ最モ憎ムベク、又最モ戒シムベシ、斯ウ云フ觀念カラ致シマシテ罰ヲ上ゲマシタ割合ハ收賄ノ方ヲ特ニ重クシタノデアリマス、然ラバ收賄ヲ斯様ニ、第一項ニ付テハ十年、第二項ニ付テハ一年以上ノ有期刑、第三項ニ付テハ無期迄ニ上ゲル、其ノ割合ヲドウ決メタカト云フコトデアリマスルガ、是ハナカノ一言ニシテ申上ゲニクイ問題デアリマスルガ、前同刑事局長ヨリ申上ゲマシタヤウニ、相當現行法ノ下ニ於キマシテモ收賄者ニ付テ重刑ヲ科シタ事例ガアリマス、又科セナケレバナラナカツタノデアリマス、是ガ今後若シ殖エテ參リマスルナラバ由々シキ大事デアリマスカラ、此ノ點十分ニ考ヘナケレバナラナイト存シマシタシ、御承知ノ戰時刑事特別法ニ於キマシテ、戰時下最モ警戒ヲ要スル罪ニ付キマシテ刑ヲ著シク重クシタコトガアリマシタ、ソレ等ノ相當重イ罪ト比較致シマシテ、ソレ等ノ罪種ト、收賄、贈賄ノ罪種ヲ考ヘマシテ先ツ似タ所ニ上ゲテ行クノガ宜クハナイカ、斯ウ考ヘマシテ、收賄、贈賄ニ相當戒シムベキモノアリト云フ見地カラ致シマシテ、是ト似タモノデハアリマセスケレドモ、同等ト目シテモ宜イヤウナ罪、ソレ等ノ刑トヲ比較致シマシテ、先ツココイラガ適當デハナイカト考ヘタ次第デアリマス

○山岡萬之助君 只今御説明ヲ承リマシテ諒承致シマシタ、賄賂罪ノ罪ヲ重クスルト云フコトハ、現下其ノ必要ニ迫ツタコトハ明カナコトデアリマシテ、此ノ立法ハ我々ハ大イニ迎ヘルモノデアリマス、唯併シ茲ニ特ニ司法大臣ニ伺ツテ、御意見ヲ承テ置キタイコトガアリマス、賄賂ノ罪ト云フモノハ從前カラアリ來ツタモノデアツテ、是ハ大體憎ムベキモノニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ又近時稅務面ノ賄賂罪ト云フモノハ非常ニ多イ、是亦脫稅其ノ他ノ事柄デアリマシテ、是モ相當良クナイ、即チ惡質ノモノデアリマス、別ニソレ等ニ付テ一々伺フ積リハナイガ、唯經濟ノ統制ニ伴ヒマシタ罪ニ付キマシテハ、是ハ今後ノ運營上ニ十分ニ御留意ヲ煩ハス必要ガアルト思フノデアリマス、私ハ重ク科シタイケナイト云フノデヤナイ、刑ノ效果ヲ十二分ニ發揮シ、又現在迄ノ刑事政策ニ於テモ犯罪ハ之ヲ豫防スベシト云フコトデアリマスカラ、其ノ見地ニ立ツテ何フ次第デアルガ、統制ニ關スル犯罪ト云フモノハ、大體事業其ノ他サウ云ツタコトニ牽聯シテ、許可認可或ハ資金ノ貸出、資材ノ配給等事業ヲ遂行スルニ伴ツテ生ズルモノデアリマス、例ヘバ或種ノ生産ヲ爲シタ、大體材料ガ整ツタガ、或部分ガ整ハナイ、ソコデ工程ヲ進メルコトガ出來ナラナイ、斯ウ云フ場合ニハ背ニ腹ハ替ヘラレナイ、工場ヲ休マセテ置ク譯ニイカナイ、茲ニ於テ或請託ヲ爲シテ、ドウカ速カニ之ヲ運ンデ貰ヒタイト云フ風ナコトガ出テ來ルノデアリマス、一體經濟ヲ統制シ、總テノ關係ヲ整ヘテ置クト云フ以上ハ、サウ云ツタコトハアルベキ筈ハナイノデアリマスケレドモ、現在迄ノ事態ハ相當部分サウ云ツタ困ツタ場面ガアツテ生産擴充ヲ阻害

裁判所構成法戰時特例中改正法律案特別委員會議事速記録第二號 昭和十八年十月二十七日 貴族院 三

スル、今度ハ軍需省ガ出來テ、其ノ他行政ノ非常ナ改革ガアリマシタノデ、之ニ依ッテ左様ナ辻褄ノ合ハナイコトナドハ段々ナクナルコトト私ハ確信致スノデアリマス、又政府ニ於テモサウ云フ考ヲ御持チノコトト思ヒマスケレドモ、此ノ點ニ付テハ、司法トスレバ惡イ犯罪ガ出テ來レバ之ヲ檢舉スル、サウシテ處罰ヲスレバソレデ一應任務ハ盡キテ居ルノデアリマスガ、時局重大ノ場合ニ唯檢舉ヲシテ處罰スレバソレデ宜イト云フヤウナ譯ニ參ラヌト思ヒマス、其ノ根柢ニ向ッテ行政ノ簡素化ヲ圖リ、業者ヲシテ背ニ腹ハ替ヘラレヌヤウナ事態ニ置カナイヤウニ、又統制ノ圓滑ヲ期シテ五ニ所謂本當ニ官民一體トナツテ、生産ノ増強ヲスルト云フコトニ向ハヌケレバナラス、又政府ハ正ニ左様ナ考ヲ致シテ居ルト思ヒマスルガ、此ノ點ヲ具體的ニ左様ニスル必要ガ私ハアルト考ヘマスル、是レ故ニ司法省トシテノ御考ヘ方ヨリモ、丁度司法大臣ガ國務大臣トシテ是等ノコトニ付テノ御考ヘ方ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○國務大臣(岩村通世君) 只今ノ御質問誠ニ御尤モト存ジマス、司法省ト致シマシテモ、刑罰ハ何モ國家ガ好ンデ犯罪者ヲ罰スルコトヲ目的トシテ居ルモノデハナイト私ハ思ヒマス、刑罰ニ依ッテ一般ヲ警戒スル、刑罰アルガ故ニ犯罪ガ全ク絶滅スルト云フコトニナレバ、是ハ全ク理想ノ境地ダト思ヒマスガ、遺憾ナガラ今日迄左様ナコトニ至ッテ居ラヌノデアリマス、今回特ニ綱紀ノ肅正ヲ期スル爲ニ刑罰ヲ重クシタ所以モ、斯カル刑罰ヲ重クシタコトニ依ッテ一般ヲ警戒スル、之ニ依ッテ出來ルダケ犯罪ガ減少スルト云フコトガアリマシタナラバ、立法ノ

目的ヲ達スルコトニナルガラウト思ヒマス、刑ノ量定ハ私カラ申上ゲル迄モナク、相當ニ我方國ノ刑法ハ法定刑ノ幅ガ廣イノデアリマシテ、裁判ニ當ッテハ諸種ノ事情ヲ能ク斟酌シマシテ、其ノ廣イ法定ノ範圍内ニ於テ適當ナ裁判ガ出來ルヤウニナツテ居ル譯デアリマス、只今御話ノヤウナ具體的ノ事件ニ付キマシテハ十分ニソレ等ノ事情ヲ精査致シマシテ、重キモノハ重ク、輕キモノハ輕ク處斷スルト云フコトニナラウト思ヒマス、今回法定刑ガ非常ニ高マリマシタ、法定刑ガ非常ニ重クナツタカラト申シテ、總テ大體ニ於テ事案ヲ重ク見ルト云フコトニハナリマスルケレドモ、實際今度ノ事案ヲ裁判スルニ當ッテハ、此ノ法定ノ刑ノ範圍内ニ於テ適當ニ裁判ヲスル、ソレニ依ッテ刑政ノ途ヲ正シテ行クト云フコトニナルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ私ハ特ニ統制經濟ノコトニ付テ色々御話ガゴザイマシタガ、統制經濟ハ戰爭目的ヲ完遂スルニハ、ドウシテモ是ハ必要ナ制度デアラウト私ハ確信シテ居リマス、ソコデ統制經濟ニ關係アル官吏ガ、收賄ヲシタト云フヤウナ事件ガ起ツタ場合ニ、ドウ云フモノヲ非常ニ重ク見ルカト云フコトハ只今色々御話ノ中ニモアツタ思ヒマスガ、大キナ物動ノ關係ヲ案スト云フコトハ非常ニ重大ナ事柄ガ起ツテ來ルモノデハナイカ、ソレデ物動關係ヲ案スヤウナ事柄ガ假ニアリト致シマスルナラバ、左様ナコトニ關聯シタ瀆職罪ト云フモノハ非常ニ重イト思フ、又ソレカラ方面ハ違ヒマスガ、國民ノ生活問題、斯ウ云フコトニ關係致シマシテ、此ノ瀆職ガ行ハレルト云フコトデアレバ、是モ私ハ相當ニ重ク視テ宜イノデハナイカト思ヒマス、從

來瀆職事件ノ發生シタ場合ニ、能ク注意ヲシテ居ルノデアリマスガ、大體私ハ此ノ二點ニ付テ相當重ク考ヘナケレバナラス、是ハ瀆職事件ニ限ラズ統制經濟事犯ニ付テモ、此ノ二點ト云フモノハ最モ注意ヲシナケレバナラス點デハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ左様ナマア觀點デ、色々事件ノ取締ヲ考ヘテ居リマスルガ、マア外ノ方面カラ見テ、此ノ統制經濟ノ運用ト云フモノガ圓滑ニ行ハレルト云フ、殊ニ物動關係等ニ關係シタ事件ニナリマスルト、サウ云フヤウナ點ガ極ク圓滑ニ行ハレルト云フコトガ、戰爭目的ヲ遂行ニ非常ニ關係ヲ持ッテ來ルト考ヘテ居リマス、今回政府ニ於キマシテ色々軍需省其ノ他行政機構等ヲ改革致シマシテ、決戰態勢ニ順應スベク、諸般ノ制度ヲ建直シテ居ル譯デアリマスカラ、勿論今御話ノヤウナ點ガ重要ナ事柄ト考ヘテ居ルコトハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、今後御話ノヤウナ點ハ政府トシテ十分注意シナケレバナラス點デアリ、又司法省方面カラ、檢舉ノ方面カラ考ヘマシテモ、十分ニ是等ハ考慮致シマシテ、處置ヲシナケレバナラスモノダト考ヘテ居リマス

○山岡萬之助君 今ノ御説明デ了承致シマシタ、要スルニ此ノ統制經濟ノ問題ニ付キマシテハ、官民一體圓滑ニ其ノ行政ヲ行ヒ、極メテ簡素ニシテ實績ヲ擧ゲルト云フ風ニ行キマスルナラバ、其ノ犯罪ト云フモノハ其ノ場面ニ起キテ來ナイ迄ニ行ケルト考フルノデアリマス、其處ニ無理ガアルカラ贈賄ト云フコトニ依ッテ、目的ヲ達シナケレバナラスト云フコトニナルト云フノガ今ノ御説明中ニモアツタノデアリマス、ドウカ十分ソレ等ノ點ハ御考慮下サイマシテ、政府ニ於テハ此ノ重大ナ時局ニ於テ、犯罪行為ヲ目的ニシテ居ルヤウナ行キ方デハイカスト考ヘマス、何卒十分御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、速記ヲチヨット止メテ頂キタイ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ

○仁井田益太郎君 一二點伺ヒタイノデスガ、申ス迄モナク此ノ度ノ改正ハ控訴廢止ト云フコト及ビ民事訴訟ニ付テハ、上告スルニ當ッテハ事實ノ誤認ト云フコトヲ控訴ノ理由ト爲スコトガ出來ルト考フルコトガ出來ルノデアリマスガ、此ノ改正法律ガ圓滿ニ行ハレルト云フコトニ付テハ、之ニ對シテ裏付ケガナケレバナラスト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマシテ、人員ノ配置トカ、部ノ増加ト云フコトハ勿論アルベキコトデ、勿論是ハ考ノアルコトデアリマスガ、此ノ機會ニ於テ政府ガドウ云フ用意ガアルカト云フコトヲ伺ッテ置キコトガ、必要デアラウト思フノデアリマスガ、單獨判事ニ付テ申スナラバ是ハドウモ從來ノ例ニモ見テ居ル所デアリマスガ、相當ニ熟練ヲシタ者ヲ配置シタ御方針ノヤウニ聞イテ居リマス、是等ノ點ニ付テモ更ニ一層ノ考ヲ必要トスルト思フノデアリマスガ、控訴ガナクナルト云フノデスカラ、今ヨリハ一層其ノ點ニ付テ注意ヲスル必要ガアルト思ヒマス、此ノ點ニ付テドウ云フ御用意ガアリマセウカ、ソレカラ又大審院ニ付テ申スナラバ、從來トテモ相當ニ事件ガ長引イテ一年以上モ掛ルト云フコトハ決シテ珍シクナイノデアリマスガ、今度事實ノ誤認ヲ理由トシテ上告ガ出來ルト云フコトニナルノデアリマス、而シテ事實ノ審理ヲ爲スコトガ出來ルト云フ

コトニナルト一層煩雜ト云フコトニモナル、ソレカラ刑事訴訟ニ付テモ民事訴訟ニ付テモ控訴ガナクナルト云フコトニナレバ、詰リ上告ガ控訴ニ變ルヤウナ形ニナラナケレバ、一層上告ノ數ガ多クナルト思フノデアリマスガ、サウスレバ言フ迄モナク大審院ニ於ケル所ノ人ノ増加ガ必要デアルト思フノデアリマス、ソレハ必ズ其ノ點ニ付テモ御用意ガアルト思フノデアリマス、此ノ際此ノ點ヲ明カニシテ置クコトガ必要デアラウト考ヘマシテ、其ノ點ニ付テ一ツ伺ヒタイノデス、ソレカラ第二點ハ、御承知ノ通り是迄ノ法律デ控訴ノ出來ナイト云フモノガアツテ、上告ダケガ出來ルト云フコトニナツテ居ル訴訟ガ可ナリ多イノデアリマス、處ガ從來ノ法律デハ上告ヲスルニ當ツテハ事實ノ誤認ヲ理由トスルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、處ガ今度ノ法律ニ依ルト、從來ノ判決ニ對シテハ矢張り事實ノ誤認ヲモ上告ノ理由トスルコトガ出來ル、是ハ民事訴訟ニ付テ申スコトデアリマスガ、是ハ刑事訴訟ト均衡ヲ得ル爲ト云フ御考ニ外ナラヌト思フノデアリマスガ、從來ハ相當多クノ訴訟ニ付テ上告ヲスルニ當ツテ、法律ノ違背ノミヲ理由トスルコト云フコトヲ認メテ事實ノ誤認ヲ上告ノ理由トセズニ居ツタノデアリマスルガ、此ノ際之ヲ逆戻シニシテ事實ノ誤認ヲモ上告ノ理由トスルコトガ出來ル、斯ウナルコトニ付テハ單リ刑事訴訟トノ均衡ヲ得ルト云フ理由ダケデハドウデアラウカ、何カ事實ノ誤認ヲモ上告ノ理由トセネバナラスト云フ、從來控訴ノ出來ナイ訴訟ニアツテモ、サウ云フノデアレバ、當時既ニ事實ノ誤認ヲモ上告ノ理由トセネバナラスト云フコトニナル

デアリマスカラ、此ノ際詰リ從來ノ法律ニ於テ控訴ヲ許サヌ事件ニ付テモ上告ヲスルニ當ツテハ事實ノ誤認ヲ上告ノ理由トスルコトガ出來ルト云フコトニスベキ何カ積極的ナ理由ガナケレバ、ドウモ刑事訴訟ト同ジニスルト云フダケデハ不十分デアリナイカ、寧ロ從來ノ法律ニ於テ控訴ヲ許サナクシタ事件、而シテ上告ヲスルニ當ツテハ法律ノ違背ノミヲ理由トスルコトガ出來、事實ノ誤認ヲ上告ノ理由トスルコトガ出來ナイ事件ト云フモノヲ規定ノ例外ニセラレテモ宜クハナイカ、戰時關係デ事件ヲ成ルベク簡略ニスルト云フ意味デ、或訴訟ニ付テハ控訴ヲスルコトガ出來ナイ、上告ノミハ出來ル、而モ其ノ上告ハ法律ノ違背ノミヲ理由トスルコトガ出來テ事實ノ誤認ヲ理由トスルコトガ出來ナイトシテ居ツタノデ、ソレヲ此ノ際逆戻シヲスルト云フコトニ付テハ、何カ從來ノ法律ノ施行ノ上ニ於テ、相當改ムベキ理由ガアルトカ何トカト云フコトデナケレバ、ドウモ政府ガ刑事訴訟トノ均衡ノ爲デアルト云フダケデ問題ヲ片付ケルト云フコトハ、元々民事訴訟ト刑事訴訟トハ全然性質ガ違フモノデアリマスカラ、ドウモ均衡ヲ得ルト云フダケデハ甚ダ不十分デアルト思フ、何カ相當ノ理由ガオアリデアラウト思ヒマスガ、若シアルナラバソレヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、此ノ二點ダケヲ先ツ伺ヒタイ

○政府委員(大森洪太君) 御答ヲ致シマス、先ツ第一點デアリマス、斯様ナ重大ナル變更ノ案ヲ以テ臨ムノデアリマスカラ、若シ是ガ幸ニ御協賛ヲ得ルコトニナリマシテ實施スルコトニ相成リマスカラ、其ノ運用ニ付キマシテハ私共ハ十分ノ努力ヲ傾注致シマシテ司法ノ運用ニ萬遺憾ナキヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ之ガ人員ノ配置ニ付テハ全ク御説ノ通りデアリマス、先ツ第一ニ考ヘテ居リマスルノハ、區裁判所ノ事物管轄ガ擴張サレマシタ、サウシテ申ス迄モナク區裁判所ハ單獨判事デアリマスカラ、其ノ人選ニ十分ノ注意ヲシナケレバナラナイコトハ申ス迄モナイノデアリマス、既ニ先般御協賛ヲ得マシテ實施ニナツテ居リマス戰時三法律ニ付キマシテハ、其ノ御審議ノ際、區裁判所ニ練達堪能ノ士ヲ配置スルト云フコトヲ申述ベテ居リマス、爾來其ノ事ニ努力ヲシテ居ルノデアリマスガ、唯現情ヲ以テ完璧ナリヤ否ヤト云フコトヲ申シマスニハマダ十分分デアリナイノデアリマシテ、私共ハ今後一層ノ努力ヲシナケレバナラスコトハ勿論デアリマス、唯區裁判所ノ判事ニ付キマシテ今日ノ實情ヲ申述ベマスルト、區裁判所ノ判事ハ全國ヲ通ジマシテ五百十六人デアリマス、此ノ五百十六人ノ全國ノ區裁判所ノ判事ニ付キマシテ、六級以上ト申シマスルト、昇進ノ遲イ司法部ニ於キマシテハ先ツ十年以上ノ在職者デアリマス、即チ六級以上デハ八十六パーセントヲ占メテ居リマス、又四級以上ニナリマスルト大體在職ガ十五年以上デアリマスルガ、此ノ四級以上ノ者ガ五十パーセントヲ占メテ居リマス、サウ致シマシテ戰時三法律ノ施行前ト施行後トヲ較ベマスルト、平均年齢ニ於キマシテ滿一年乃至滿一年半多クナツテ居リマス、ソレデアリマスカラ戰時三法律施行後ニ於キマシテハ、區裁判所ノ判事ニ經驗者ガ多少殖エテ居ルト云フコトガ申サレヤウト思フ

ノデアリマス、併シ先程申シマスル如ク、之ヲ以テ私共ハ決シテ満足ヲスルモノデアリナイノデアリマシテ、區裁判所ノ充實ト云フコトニハ今後更ニ多大ノ努力ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ御承知ノヤウニ判事ハ地位ノ保障ガアリマスルカラ其ノ人ヲ中々動カシシクイノデアリマス、唯同ジ地方デアリマスト大抵其ノ地方ノ區裁判所ヲ兼ネル所謂兼區ノ辭令ガ出テ居ルノデアリマスカラ、其ノ地方デ區ニ移シマスルコトハ容易デアリマスカレドモ、他地方ニナリマスルト中々困難ヲ伴フモノデアリマス、併シ幸ニ戰争前ト戰争後トヲ較ベマスルト、判事全體ノ意氣込ミハ確カニ變ツテ參リマシテ、戰争前ニ較ベマスルト人事ノ配置移動ハ大變樂ニナリマシタ、ソレデ此ノ人事ノ配置ニ付テ十分努力ヲシナケレバナラナイト云フコトニナルト、法制上或ハ地位ノ保障ニ付テノ規定ヲ變更シナケレバナラナイト云フ議論モ一部ニハアツタヤウデアリマスカレドモ、勿論左様ナコトヲ致サズ、地位ノ保障ニ手ヲ觸レマスルト、是ハ判事ノ制度トシテハ由々シキ問題デアリマスカラ、之ニ手ヲ觸レナイデ我々が努力ヲシテ參リマスレバ、區裁判所ノ判事ノ充實ハ必ズシモ不可能デアリナイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、次ニ御指摘ニ相成リマシタ大審院ノ問題デアリマスルガ、御承知ノヤウニ今日大審院デ事件ノ遅レテ居ルモノモアリマスルコトハ確カニ事實デアリマスガ、大審院ノ人員ノ増減ニ付キマシテハ、今御話ニナリマシタヤウニ民事ニ付キマシテモ重大ナル事實ノ誤認ヲ上告ノ理由ト致スノデアリマスカラ相當其ノ點ニ付テ事件ノ増加ヲ見ルコトハ當然デアリマ

スケレドモ、大審院へ参リマスノハ地方裁判所ノ上告事件ダケデアリマシテ、而モ地方裁判所ノ事物ノ管轄ハ、今回ノ變更デ多ク減少スル譯デアリマスカラ、先ヅ大審院ニ付キマシテハ人員ノ増減ナクテ済ムノデヤナイカ、斯様ニ存ジテ居リマス、結局全體ノ人員ノ配置ノ變動ヲ考ヘテ見マス、地方ガ多少減リマシテ、區裁判所ガ幾ラカ殖エル、控訴院、大審院ニハ先ヅ増減ガナクテ済ミハシナイカ、斯様ニ存ジテ居リマス、サウシテ總テノ合算カラ申シマスト、判事ニ幾ラカ手ガ空クヤウニ思ヒマス、即チ若干ノ人員ノ捻出ガ出來ルト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙此ノ人員ノ問題ニ付キマシテ、折角ノ御示シモアリマシタカラ、私共十分ニ努力ヲ致ス積リデアリマスルガ、何ヲ申シマスルニモ、人間ノ素質ガ根本ノ問題デアリマス、幸ニ茲三四年ノ所、司法官試補ヲ志願シマスル者ノ素質ガ大變良クナツテ参リマシテ、即チ各種ノ學校ノ優秀者ガ司法部ヲ志願スルト云フ傾向ヲ示シテ居リマス、是ハ大變私共樂シミニシテ居ルノデアリマシテ、今後モ斯ウ云フ傾向ノ持續スルコトヲ望ムデ居ル次第デアリマス、第二點デアリマスルガ、民事訴訟ニ付キマシテ上告審ニ重大ナル事實ノ誤認ヲ入レマシタ、是ハ勿論大變革デアリマス、之ニ付テハ色々ノ御議論モアルカト存ズルノデアリマスルガ、先ヅ第一點ハ、民事訴訟全般ニ付テ控訴審ヲナクシマス、デアリマスルカラ、事實審ハ第一審ダケニ限ルノデアリマスルケレドモ、裁判ノ根本ノ事實ノ問題ガ間違テ居ルト云フコト、是亦由々シキ問題デアリマスカラ、少クトモ上告審ニ事實ノ誤認、而モ之ガ重大ナルモ

ノナレバ之ヲ採入レタイ、斯ウ云フ考デアリマシテ、先ヅ最初根本ノ問題ハ控訴審ヲ無クシタカラデアリマス、次ニ御示ノヤウニ、現在既ニ戰時特別法ノ施行ノ結果ト致シマシテ、民事ニ付テモ二審級ノ事件ガアルノデアリマスケレドモ、是ハ種類ガ極メテ少イノデアリマシテ、或種ノ明渡、占有ニ關スル訴訟、若シクハ經界ニ關スル訴訟、サウ多クノ事件デアリマセス、民事今日二審級ニナツテ居ル事件ノ多クハ執行關係ノ事件デアリマシテ、之ニ付テハ相當ノ數ガアルノデアリマス、是等ノ事件ヲ通覽致シマシテ、事實ノ重大ナル誤認ト云フコトガアレバ結構ダト思ヒマス、アレバアル方ガ宜イト思ヒマス、併シソレガナクッタカラ過去一年半ノ實績ニ於テ非常ニ困タ事例ガアルカドウカト言ハレマス、私共ノ知ツテ居ル範圍デハ、左程ソレガ爲ニ支障ヲ生ジタト云フコトハ見當ラナイヤウデアリマス、デアリマスルカラ現在此ノ二審級ニナツテ居リマスル民事訴訟ニ付キマシテハ、是ハ別ニ重大ナル事實ノ誤認ト云フコトヲ入レナイデ、其ノ儘見送ッテモ宜イデヤナイカト云フ考モ立チ得ルノデアリマスケレドモ、既ニ民事ニ付テ控訴審ヲ無クシテ、總テニ付テ左様ニ致シテ、總テニ付テ重大ナル事實ノ誤認ヲ上告ノ理由ニスル、斯ウ云フコトニナリマス、特ニ現在二審級ニナツテ居リマスル比較的少數ノ種類ニ付テ、ソレダケ除クト云フコトハ如何デアリマセウカ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、即チ私共ノ考ト致シマシテハ、控訴審ヲ無クシタナラバ、重大ナル事實ノ誤認ニ付テハ上告ノ理由トスルコトハ、是ハ必要デアアル、斯様ニ考ヘタノデアリマシテ、此ノ

必要性カラ今日二審級ニナツテ居リマスル或種ノ少數ノ民事事件ヲ特ニ除外スルコトモ宜クナイト斯様ニ存ジタ次第デアリマス、尙御承知ノヤウニ今日總テノ民事事件ニ付テ上告ノ理由トシテハ申ス迄モナク法令ノ違反デアリマスガ、此ノ法令違反ノ中ニ深證原則ノ違反若クハ經驗律ノ違反或ル意味ニ於テハ事實審ニ引掛ッテ來ルヤウナ問題ガ上告理由ニ隨分出テ來ルノデアリマシテ、又ソレヲ採リ上ゲテ上告ニ於テ原判決ヲ破毀シテ居ル事例モ少クナイノデアリマス、是ダケデモ宜クハナイカト云フ考モ一應ハ立ツノデアリマスケレドモ、併シ控訴審ヲ無クシタ以上、ドウシテモ事實ノ重大ナル誤認ニ付テハ事實審ヲ爲スト云フコトヲ一方ニ掲ゲ、之ヲ適當ニ活用スルコトガ必要デアラウト斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

○仁井田益太郎君 私ハ從來控訴ヲ認メズ、上告ノミヲ認メテ居ル事件ニ付テ、事實ノ誤認ヲ上告ノ理由トスルト云フコトニ付テハ、私ノ意見トシテハ實ハ贊成ナノデアリマスケレドモ、斯ウ云フコトヲスルニ至ツタニ付テハ、當局ニ於テ一般ニ事實ノ誤認ト云フコトヲ上告ノ理由トスルコトガ、適當デアルト云フ言明ヲ實ハ得タイノデ實問ヲ致シタ譯デ、外ニ理由ガアルカト云フコトヲ伺ツタノハ、其ノ次第デアリマス、ソレカラ次ニ人員ノ配置等ノコト或ハ人員ノ補充モ同様ノコトト思ヒマスガ、今更區裁判所ニ老練ナ判事ヲ配置スルト云フ爲ニ、隨意ニ轉所ガ出來ルト云フ風ニ法律ヲ改メルト云フヤウナコトハ、無論イカナイコトハ疑ナイコトデアリマスガ、唯此ノ停年制デスナ、之ニ付テハ相當考慮シテ宜シイノ

○國務大臣(岩村通世君) 只今司法部ノ將來ノコトハ別問題デ、只今ノ所デハ特ニ定年制ヲ廢止致シマセズデモ、人員ノ點ハ十分ニ賄ヘルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、或ハ數年後ニデス、色々ノ狀況ノ變化デドウシテモ定年制、現在ノ定年制ヲ退職スル人デモ、引續イテ是非定年制ヲ撤廢シテ用ヒナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、將來特別ノ事情ガ發生スレバ別デアリマスガ、只今ノ見透シデハ其ノ必要ハナカラウカト云フ考デアリマス

○次田大三郎君 今度提案ニナリマシタ裁

判所構成法、戰時特例中改正案ハ民事刑事ヲ通シテ從來ノ三審制度ヲ全面的ニ撤廢シテ、二審制度ニシヨウト云フ案デアリマス、我國ノ司法制度ノ劃期的變更ト申シテモ過言デナイト思フ、三審制度ハ國ガ人民ヲ裁ク上ニ於テ苟モ間違フナクイコトヲ期シテ、念ニハ念ヲ入レト云フ趣旨デ作ラレタ有難イ制度デアリマシテ、明治ノ御代ニ創設セラレテ以來既ニ數十年、我國民ハ此ノ權利、利益ノ上ニ國ノ與ヘル有難イ保護ヲ享受シテ今日ニ參ッテ來タノデアリマス、ソレヲ一朝ニシテ二審制度ニスル、是ハマア非常ニ重大ナ事柄デアルト言ヒ得ルト思フノデアリマス、簡單ナ一ツノ例ヲ舉ゲテ見マシテモ、昨日御配付ニナリマシタ參考書類ヲ見マス、是ハ刑事ノ方デスガ、刑事ノ控訴審ノ判決ガ、昭和十三年カラ十七年迄ノ平均一年ニ二千六百三十一人、其ノ中デ無罪ニナリ、免訴ニナッタ者ガ九十六人、刑ヲ輕クサレタ者ガ九百九十三人ト云フ統計ガ出テ居リマス、詰リ第一審ノ判決ニ不服デ控訴ヲ申立テタ者ノ四十「パーセント」餘ガ或ハ無罪ニナリ、或ハ刑ヲ輕クサレテ居ルノデアリマス、サウシマス、今度ノ三審制度ヲ廢シテ二審制度ニスルコトニ依ッテ、第一審ノ判決ニ不服ナ者ノ百人ノ中デ四十幾人ガ無罪ニナリ、若クハ刑ガ輕クナルト云フ機會ヲ奪ハル、コトニナルノデアリマス、是非非常ニ重大ナコトデアアルコトハ、本案ニ贊成スル者モ本案ニ對シテ反對ノ態度ヲ執ル者モ等シク認メナケレバナラナイコトト思フノデアリマス、議會ト致シマシテハ、此ノ重大ナル案件ヲ審議スルニ當リマシテハ、各方面カラ十分檢討ヲ加ヘテ、慎重ノ上ニモ慎重ニ審議シテ可否ヲ決定スルコト

ガ、我々議員ノ職責デアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ私伺ヒタイノハ、斯クノ如キ重大ナル法律案ヲ此ノ會期三日ニ過ギザル臨時議會ニ御提出ニナラナケレバナラナカッタト云フノハドウ云フ譯デアリマセウカ、モウ六十日スレバ通常議會ガ開カレル、此ノ六十日ヲ待ツコトガ出來ナイト云フ事由ハ何處ニアルノデアリマセウカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、斯ウ云フ重大ナル案デアアルカラ通常議會迄待ッテモ宜イノデヤナイカ、サウシテ十分議員ニ審議ヲ盡サセルト云フコトガ政治運用ノ上カラ適當デアナイカト考ヘルノデアリマスガ、ソレヲナサレナカッタノハドウ云フ理由デアリマセウカ、又何カ重大ナル理由ガアツテ、ドウシテモ通常議會ヲ待ツコトガ出來ナイ、ドウシテモ此ノ臨時議會デ此ノ問題ヲ決シナケレバナラヌト致シマスラナラバ、三日ノ會期ト云フモノハ短カキニ失スルノデハナカラウカ、或ハ五日トカ或ハ七日トカト云フ風ニ會期ヲ御定メニナツテ、サウ云フ會期デ臨時議會ヲ開クコトヲ御奏請ニナツテ然ルベキモノデアナイカト斯ウ思フノデアリマスガ、此ノ二點ニ付テ國民一般ガ納得スルヤウナ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岩村通世君) 只今二審制度ヲ全般ニ採用スルト云フコトハ非常ニ重大ナコトデアアルト云フ點ノ御意見デアリマスガ、是ハ私共全ク同感デアリマス、司法部ニ取リマシテハ非常ニ劃期的ノ制度ノ改革デアルト考ヘテ居リマス、何故ニ之ヲ臨時議會ニ提案シタカト云フコトニ付キマシテハ、私共種々考ヘ方ヲシテ居リマス、戰爭ハ御承知ノ通り相當熾烈ヲ極メテ參リマス、斯様ナコトガアツテハナラヌノデアリマスガ、或ハ空襲等ノ危険ト云フヤウナコトニ付テモ防空上種々研究ヲ致シテ居ル通りデアリマス、此ノ際司法部ト致シマシテモ、萬一ノコトガアツテモ司法裁判ト云フモノガ行ヘルヤウニシテ置カナケレバナラヌト云フ考ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、ソコデ空襲等ガゴザイマシテ交通、通信ト云フヤウナモノノ杜絶スルト云フ不幸ナ場合等ヲ豫想致シマス、上告事件ガ東京ノ大審院一箇所ニ集マルト云フヤウナ建前デハ到底司法裁判ト云フモノヲ行フコトガ出來ナイデアラウ、ソコデ二審制ヲ採ルト同時ニ、區裁判所ノ事件ハ其ノ上告ヲ全國七箇所ノ控訴院デ管轄スルコトニ致シマシタ、控訴院ハ現在東京、大阪、名古屋、廣島、長崎、仙臺、札幌ノ七箇所ニアリマス、ソレカラ又區裁判所ノ事物管轄ヲ擴張シダト云フ點デアリマスガ現在民事、刑事ヲ取扱ッテ居ル地方裁判所ガ全國ニ五十一アリマス、東京ダケニハ刑事地方裁判所ト民事地方裁判所ガ特ニ一箇所ツツアリマス、處ガ區裁判所ハ其ノ約四倍位ノ數ガアリマス、例ヘバ北海道デ言ヘバ札幌地方裁判所管内ノ區裁判所ガ數箇所アリマスカラ、其ノ數箇所ノ區裁判所デ大體刑事事件等ノ相當大キナ事件ヲ處理ヲシヨウ、全國的ニ見テ申シマスト、北海道ニ例ヲ取レバ、區裁判所カラ起シタ事件ハ上告ガ北海道デ大體片付イテシマフ、サウ云フコトニナリマス、現在ノヤウニ東京ノ大審院迄上告シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ其處デ省略セラレル譯デアリマス、假ニ空襲ガアリマシテ札幌ト東京ノ通信或ハ交通ガ杜絶セラレマシテモ、裁判ハ行ヒ得ル、最終審ガ行ヒ得ルト云フコトニナル、又ソレガモウ一步、北海道内

ノ例デ言ヒマシタナラバ、大體地方裁判所デ裁判シナケレバナラヌト云フモノハ、各地ノ區裁判所デ處理ガ出來ルト云フヤウナコトニモナル譯デアリマス、要スルニ萬一ノ場合ヲ十分考慮ニ入レマシテ、左様ナ場合ニモ司法裁判ト云フモノガ十分行ヒ得ルモノデアルト云フ用意ヲシテ置クコト云フコトガ現在司法部トシテ必要デアラウト云フ考ヘ方ヲ以チマシテ、今回ノ臨時議會ニ、期間ハ甚ダ短イノデアリマスガ、司法部ト致シマシテハ、是ダケノ準備ダケハシテ置クト云フコトガ責任上當然ノコトデアナカラウカト云フコトカラ、全體ニ二審制、事務モ簡捷致シマシテ、一審ガ省略セラレマスカラ、無論三分ノ一事務ガ短クナルト私共ハ考ヘテ居リマセウカ、無論二審ト云フコトニナレバ、一層二審ノ裁判官ハ非常ナ責任ヲ感ジマスルカラ、本當ニ綿密ニ事柄ヲ調べルト考ヘマス、無論サウナクチヤナラヌト考ヘテ居リマスカラ、丁度三審制度ガ二審制度ニナルカラ、事務ガ三分ノ二ニ短クナルト云フコトハ私共考ヘテ居リマセウカ、十分二審制度ニナリマシタラカラ盡シ、事實ノ認定等ニ付テ相當ニ慎重ニ證據ヲ調べスルトカ、相當ニ時ハ取ルトハ思ヒマスガ、取ルニシテモ、何ト云フテモ一審ノ省略ニナリマスカラ、總テノ刑事民事ニ互リマシテ、事務ノ處理ガ早クナル、是ハ矢張り色々戰時ノ増産ノ方面ニモ關係ガゴザイマスシ、事件ヲ速カニ處理スルト云フコトハ、平素デモ必要ナコトデアリマス、況ンヤ斯ウ云フ非常ノ時ニ、人手ノ非常ニ欲シイ時デアリマスカラ、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマシテモ、二審制度ニシテ置クコトハ、現在ノ態勢上必要デアルト云フヤウナ考ヘ、旁、サ

ウ云フヤウナ點ヲ心配致シマシテ、此ノ案ヲ提案シテ譯デゴザイマス、無論日ニチガ三日間ト云フノハ、非常ニ短イデヤナイカト云フ御話デアリマシテ、其ノ點ハ、政府全體ニ於テ大體三日ト云フ會期ヲ決メテ譯デ、短イト言ヘバ短イノデアリマスケレドモ、又堪能ナ皆様ノ御力ニ依テ御審議ヲ願ヘバ、此ノ非常ナ場合デアリ、又私共モ出來ルダケノ御説明ヲ申上ゲマシタナラバ、御納得ノ行クコトデハナイカト斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、一應是デ……

○次田大三郎君

本案ヲ此ノ次ノ通常議會迄待テナイト云フ理由ハ、兎ニ角分リマシタガ、唯斯クノ如キ重大ナル案件ヲ處理スル臨時議會ノ會期ヲ三日トシテ奏請セラレマシタ理由ニ付テハ、マダ分ラナイノデゴザイマス、或ハ若シ必要デアレバ、總理大臣ノ御出席ヲ仰イデ、其ノ説明ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、是ハ議會トシテハ、自分ノ議會ノ審議權ヲ實行スル上ニ於テ非常ニ大キナ事柄デアアルノデアリマス、ドウモ兩院ヲ三日ト云フコトニナルト、結局昨日モ委員長カラ御話ガアリマシタヤウニ、午後ノ三時頃迄ニハ此ノ法案ヲ終ラナケレバナラヌ、ドウモ事柄ノ重大ナルニ比ベテ、與ヘラレタ時間ハ短カ過ギルト云フ感シヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ司法大臣カラ御答辯ヲ下サレバ伺ヒマスシ、サウデナケレバ政府ノ説明ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二點ニ移リマス、戰時刑事特別法ノ改正案デアリマスガ、其ノ主要ノ點ハ公務員ノ瀆職罪ニ關スル刑ヲ加重スルト云フ事柄デアリマシテ、私共モ双手ヲ舉ゲテ贊成ヲスルモノデアリマス、併シナガラ瀆職罪ニ對スル刑ヲ重クサレマ

シテモ、檢舉ヲシナケレバは何ニモナラヌコトデアリマス、昨日政府委員ノ御説明ニ依リマス、公務員ノ瀆職罪ノ檢舉ノ數ハ、今年ニ至ッテ非常ニ増加シタサウデアリマス、而シテソレガ又本案ヲ提出セラレマシタ理由ノ一ツノヤウニ伺ッタルデアリマス、併シナガラ私共若クハモウ少シ大キク申上ゲテモ宜イト思ヒマスガ、國民ノ大多數ノ間デ贈收賄ノ行ハレテ居ルノデハナイカト云フ疑惑ヲ多分ニ持ツテ居リマス事柄ハ、昨日御話ノ下級警察官ノ一部トカ、小學校ノ教員ノ内申ニ絡マル事件、稅務署ノ官吏ノ脱稅ニ關スル事件トカ云フヤウナコトガアリマシタガ、ソレヨリモツト大キイ役人ガ瀆職ヲシテ居ルノデヤナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、統制經濟ニ關係シテ居ル所ノ御役人ト當業者トノ間ニ、若シクハ軍需事業ヲ監督ヲシテ居ル官吏ト其ノ當業者トノ間ニ瀆職ノ事實ガアルノデハナイカト云フ疑惑ヲ、國民ノ相當廣イ範圍ニ於テ持ッテ居ルヤウニ私共ハ感ズルノデアリマス、無論瀆職ノ行爲ハ隱微ノ間ニ行ハレルモノデアリマスカラ、大ピラニヤルモノデアリマ

セヌカラ、警察デモナイ、司法官デモナイ國民ガ、適確ナル證據ヲ持ッテサウ云フコトヲ話ス譯デアリマセヌ、併シナガラ今申シマシタヤウナ職ニ官吏ガ就キマス、間モナク其ノ生活ガ非常ニ豪奢ニナル、例ヘバ豪莊ナル邸宅ヲ構ヘ、別莊ヲ買取ル、或ハ連日連夜ノ如ク新橋、赤坂アタリノ一流ノ料理店待合テ豪遊ヲスルト云フヤウナ事實ヲ見マスト、ドウモ國カラ支給セラレタ定マツタ俸給デ、斯クノ如キ生活ガ出來ル筈ガナイノデアアル、何カアルノデヤナイカト云フ疑惑ヲ生ズルコトハ、是亦無理ガナイコト

ダト存ズルノデアリマス、何故警察ハ彼ヲ調ベナイノダ、裁判所ハ、檢事局ハ何故アレヲ檢舉シナイノダラウカト云フ沙上偶語ヲ私共屢、耳ニシテ居ルノデアリマス、先頃山岡委員ガ述ベラレマシタ如ク、民間側デハ今日ノ場合、一日ノ急争ヲ仕事ヲ遂行シテ行ク上ニ於テ、已ムヲ得ズ擔當官吏ノ御機嫌ヲ伺ハナケレバナラヌト云フ事實ハ隨所ニアルノデアリマス、私此ノ夏貴族院カラ派遣サレマシテ、北九州ノ木造船建造ノ狀況ヲ視察ニ參ッタルコトガアリマス、是ハ木造船ヲ建設スルコトガ刻下喫緊ノ急務デアアル、ソレガウマク行ッテ居ルカドウカト云フコトヲ見ニ參ッタルデアリマス、其ノ北九州ノ某縣デ聞イタ話デアリマスガ、造船所ヲ經營シテ居ル者ガ、是ハ非常ニ有力ナ造船所デアリマシテ、木造船建造獎勵ノ思召ヲ以テ宮内省カラ御下賜ニナリマシタ帆柱材ヲ一本頂戴シテ居ル造船所デアリマス、其ノ造船所ノ主人ガ木造船ヲ造ルノニ色々物ガ足りナイ、殊ニ釘ガ非常ニ足りナイ、釘ヲドウニカシテ手ニ入レタイ、處ガ縣廳ニ釘ノ配給ガアッタト云フ話ヲ聞キマシテ、縣廳ニ行ッテドウカ釘ノ配給ヲ早クシテ欲シイト云フコトヲ頼ンダ、サウシマシタラ、係ノ技師ガ、イヤ御前ノ所ヘヤルダケノ釘デナイノダ、何處ニ幾ラ、何處ニ幾ラト云フ配給先ガ全部決ッテナイト御前ノ所ニ釘ヲヤル譯ニイカス、ト云ッテ斷ツタ、ソコデ其ノ造船所ノ主人ハ御尤モダ、併シナガラ如何ナル標準デ配當セラレマシテモ、私ノ所ニハ最少限度是レダケノ釘ハ配給サル、管ダト思フ、實ハ木造船ノ建造ハモウ各方面カラ督促サレテ居ルノデ、一日モ早く仕上ゲタイノニ釘ガナクテ困ッテ居

ルノダカラ、切メテ私共ノ考ヘテ居ル量ノ半分ダケデモ宜イカラ配給シテ呉レヌカ、ト云ッテ頼ンダノデスガ、處ガサウ云フコトハ出來ナイ、ト云ッテ斷ツタ、而シテ其ノ後デアノ男ハ頭ヲ下ゲテ來ナイカラ配給シテヤラヌノダ、斯ウ云フコトヲ其ノ造船業者ニ分ルヤウナ方法デ、或人ニ話ヲシタト云フコトデアリマス、造船業者ハ頭ヲ下ゲテ來ルト云フコトガ、何ヲ意味スルカト云フコトハ自分ハ能ク知ッテ居ル、併シナガラ畏クモ宮内省御下渡ノ帆柱材ヲ頂戴シテ居ッテ惡イコトハ出來ナイ、マア仕方ガナイト云ッテ我慢シテ居ッタル所ヘ丁度私達ガ參リマシテ、縣廳デ造船業ニ關係シテ居ル人達ノ座談會ヲ開イテ貫ッタル、私共モ其ノ座談會ニ出席ヲシテ色々話ヲ聽イタルデアリマスガ、其ノ座談會ヲ開ク朝ニナリマシテ、其ノ何某技師ガ造船所ニ來マシテ、今日座談會ガ開カレル、御前ノ方デ希望シテ居ッタル釘ハ希望通り配給シテヤルカラ、今日ハ斷ツテ居ッテ呉レ、斯ウ云フ御話デアッタ、アナタ方ガイラッシヤッタ御蔭デ、私ハ惡イコトヲシナイデ釘ノ配給ヲ受ケルコトガ出來マシタト云ッテ非常ニ喜ンデ話シタコトガアリマス、丁度山岡委員ガ今述ベラレタト同ジヤウナコトデ、モウ犯罪ノ一歩手前迄押付ケラレテ居ルノデアリマス、之ニ類スル話ハ非常ニ能ク聞クノデアリマシテ、是ハ昨日聞イタ話、或軍需會社ノ當業者ガ資材ヲ貰フ關係デ、或役所ヘ認可デスカ許可デスモソレヲヤッテ呉レナイ、認可、許可シテ呉レナイ、軍ノ方ノ指令モアルノダカラ、何直グニヤッテ貰ヘル筈ダト思フノダガ、何時迄經ッテモヤッテ貰ヘナイ、ソコデ毎日ノ

ヤウニ催促ニ行クガ、何時行ッテモ調ベテ置
クト云フ譯デ、其ノ書類ハドウモ其ノ係官
ノ机ノ中ニ藏ヒ込マレテ居ルラシイ、軍需
工業ハ申迄モナク時ト云フ問題ガ實ニ重大
ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ
業者ハ非常ニ焦慮シテ居ル際ニ、其ノ役所
デハ役人デアリマセヌ、民間ノ人ラシイ
ノデスガ、第三者ガ御前ハ何故役所ニコンナ
ニ來テ居ルノカト聞カレル、斯ウ云フ事情
ダト云フコトヲ話シタ、處ガソレハ極メテ
簡單ダ、直グ認可ヲ取ッテヤル、斯ウ云フ話
ナンドス、實ニ困ッテ居ル際デアリマスル
カラ、所謂溺ル、者ハ糞ヲ擲ムノ譬デ、出
來ルコトナラ頼ミマスト云フ頼シテ、即
日其ノ認可ガ得ラレタ、非常ニ喜ンデ歸ッ
ノデアリマスガ、其ノ場ハ喜ンデ歸ッタノ
デアリマスガ、數日ヲ經マシテハ役人デナイ、
第三者ガ來マシテ、アノ事件ハ評價何十萬
圓ニ相當スルト思フ、シテ見レバ御禮ヲヨ
コセ、何萬圓カ巨額ノ御禮ヲヨコセト云フ
コトヲ言ハレタ、モウ否應ナイ、巨額ノ金
ヲ取り上ゲラレト云フ話デス、是ハ第三
者デ公務員デアリマセヌ、從ッテ收賄罪ハ成
立シナイノデアリマスガ、ソレダケデハナ
イ、併シシナガラ其ノ第三者ノ懐ニ入ッテ數萬
圓ノ金ノ全部若シクハ一部分ガ、其ノ當該公
務員ノ懐ニ間接若シクハ直接ニ入ラナカッ
タト、誰ガ保證スルコトガ出來メセウカ、私共
ハ寧ろ其ノ一部分ハ其ノ官吏ノ懐ニ入ルノ
ダ、若シクハ入ッタノダト想像スル方ガ當ッ
テ居ルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、
ソレカラ是モ昨日聞イタ話デアリマスガ、
某軍需會社ノ話デアリマス、ドウモ色々ヤッ
テ貰フノダケレドモ、役所ノ方デ手續ガ引
掛ッテ困ル、デ官廳ヘ行ッテ陳情シテ居ッテ時

間ガ經ッテタ飯頃ニナルト、役人ノ方カラ一ツ
飯デモ食ッテユツクリ話サウデヤナイカ、ト
斯ウ云フ話ダ、ソコデ慌テテ新橋デスカ、
赤坂デスカ、一流ノ待合ヘ電話ヲカケテ場
所ヲ準備サシテ、サウシテ其ノ役人ノ御伴
ヲシテ其處ヘ行ッテ一緒ニ飯ヲ食フ、マア御
馳走ダケデ濟ムト宜イノダケレドモ、其ノ
後、更ニ第二ノ要求ガ出テ來ルノデ實ニイ
ヤダト云フコトヲ零シテ居ル人ノ話ヲ聞イ
タコトガアルノデアリマス、マア斯ウ云フ
ヤウナ事柄ガアッテ、其ノ儘ニナッテ居ル
云フコトハ國民ノ間ニ沙上偶語ヲ生ズル
トハ已ムヲ得ナイノデヤナイカト云フ風ニ
私ハ思フノデアリマス、現行制度ノ下ニ於
テ瀆職罪ノ檢舉ガ非常ニ困難デアルト云フ
事柄ヲ、此ノ前ノ議會デアリマシタカ、前ノ
前ノ議會デアリマシタカ、豫算總會デ司法
大臣カラ色々伺ヒマシタ、ソレハサウカモ
知レマセヌ、私共ハ司法當局ガ本當ニヤル
氣デオヤリニナルノナラバ、現行制度ノ下
ニ於テモ捜査ヲヤリ、檢舉ヲスル、國民ノ
疑惑ヲ一掃スルコトガ不可能デハナイト信
ズルノデアリマスガ、是ハ水掛論デスカラ
強ヒテ申シマセヌ、併シシナガラ現行制度ノ
下ニ於テ收賄罪ノ檢舉ガ困難デアルト云フ
コトナラバ、斯クノ如キ戰時特別法ヲ改
正ラナサルト同時ニ、檢事ノ捜査ニ關スル
現行制度ヲ御直シニナッテ然ルベキモノデ
ハナイカ、十日間シカ身分ヲ拘束スルコト
ガ出來ナイ、十日間デハ到底調ガツカスト
云フノナラバ、二週間ニスルトカ三週間ニス
ルトカ、兎ニ角現行制度ノ下ニ於テハドウ
モ檢舉ガ困難デアルト云フ言譯ヲナサル代
リ、ドウシテモ困難デアラナラバ、其ノ困
難ヲ打開スル何カノ策ヲ講ジテ下サルベキ

モノデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、
戰時刑事特別法改正ハ私ハ贊成デアリマス、
是ト同時ニ司法當局ノ捜査檢舉ニ、モウ少
シ努力シテ戴キタイト云フコトヲ切望スル
ノ餘リニ、何カ御考ガアルカ、其ノ點ヲ司
法大臣カラ御伺ヒ致シタイト思フノデアリ
マス

○國務大臣(岩村通世) 總テ犯罪ハ一般
的ニ檢舉スルコトハナカクムヅカシイコ
トデアルノデスガ、殊ニ陰密ノ間ニ行ハレ
ル犯罪ト云フモノハ非常ニ檢舉ノムヅカシ
イト云フコトハ、是ハ御了解願ッテ居ルコト
ト思ヒマス、例ヲ申シマスト私共ノ檢事時
代ノ經驗ト致シマシテモ、瀆職罪ノ檢舉ト
選舉違反ノ檢舉ト云フモノハ一番ムヅカシ
イ、其ノ他ノ犯罪ニナルト、多クハ被害者
ト云フモノガアル譯デス、被害者カラ告訴
ヲシタリ、或ハ關係者カラ告發ヲスルト云
フコトデ、犯罪ノ端緒ガ相當ニ得ラレル場
合ガアル、ドウモ瀆職罪ノ如キハ、贈賄者
モ收賄者モ一番之ヲ隠サムトシテ、色々工
夫ヲスル者スラアルト云フ事件デアリマス、
非常ニ檢舉ノ困難ナ事件デアリマス、併シ
犯罪ハ幾ラ刑罰ヲ設ケマシテモ、犯罪ガア
ル場合ニ之ヲ檢舉シナケレバ、何ノ威力モ
ナイ譯デアリマスカラ、檢察當局ニ於テハ
非常ニ其ノ點ニ努力ハ致シテ居ル譯デアリ
マス、昨日刑事局長カラ檢舉ノ計數等ヲ申
上ゲマシタガ、相當ノ數ノ檢舉ヲ致シテ居
ル譯デアリマス、御話ノ官吏ガ色々響應ヲ
受ケルト云フヤウナ事實デアリマスガ、是
ハ相當ニ舉ッテ居ル事實ハゴザイマス、今
日檢舉シタ瀆職事件ニ付テ、法外ニ響應ヲ
受ケタト云フヤウナ事件ハ、實ハ段々起訴
シタヤウナ事實ガ多クナッテ參リマシタ、

唯困リマスノハ、宴席デ酒食ヲ共ニシタト
云フヤウナ事實ダケデ、今日直チニ犯罪ノ
嫌疑アリトシテ調べルト云フコトニハ、相
當ニ困難ナ點ガアラウカト思ヒマス、殊ニ
先程御話ガゴザイマシタ通り、一體檢事ノ搜
査ノ力ガ弱ケレバ、強クシタラ宜イデヤナ
イカト云フ御注意モアッタノデスガ、是ハ
非常ニ古い問題デアリマシテ、前々カラ
總テノ犯罪ニ付テ檢事ノ捜査力ト云フモノ
ヲ強メナケレバナラスト云フ議論ガ、一部
ニ非常ニ強カッタケレドモ、亦一面ニ於テ
議會等ニ於キマシテモ、ドウモ檢事ニ強イ
權力ヲ與ヘルト云フコトハイケナイノダト
云フ説モ随分アリマシタ、是ハ議會ニ於テ
論争セラレマシタコトハ、私共ガ申上ゲル
迄モナク、皆サン能ク御承知ノ點デアリマ
ス、先ヅ重大ナ犯罪ニ付テハ、ドウシテモ
檢事ニ強イ捜査力ヲ與ヘナケレバ、法律ノ
立法ヲシタ目的ガ達セラレナイト云フコトデ
議會ノ御協賛ヲ得マシタノガ、御承知ノ國
防保安法ト治安維持法デアリマス、是ハ非
常ニ重要ナ犯罪デアリマス、之ガ爲ニ、法
律デ檢事ニ強制ノ捜査力ヲ與ヘテ戴イタノ
デアリマス、此ノ二ツノ犯罪ハ非常ニ今日
捜査ノ手が伸ビテ居ル譯デアリマス、實ハ
程度ハ違ヒマシテモ、一般ノ犯罪ニ付テモ
檢事ニ強制捜査力ヲ付與シタイト云フ私共、
希望ハ持ッテ居ルノデアリマス、ケレドモ、
今迄是ガ遺憾ナガラ、實現ガ出來ナカッタ
ノデアリマス、併シ愈々斯ウ云フヤウナ戰
時下デ、單リ國防保安法、治安維持法ノミ
ナラズ、其ノ他ノ犯罪ニ付テモ、今御話ガ
アリマシタ瀆職罪ニ付キマシテモ、斯様ニ
刑罰ガ非常ニ加重セラレマシタ以上ハ、之
ガ捜査ニ付キマシテ、檢事ニ強制力ヲ付與

スルト云フコトハ、私ハ必要ダト考ヘテ居
リマス、併シ之ニ付テハ今迄ノ色々沿革
モアリマス、研究シナケレバナラヌ點モア
ラウカト考ヘマシテ、本年、此ノ前ノ議會
デアリマシタカ、豫算ヲ御認テ願ヒマシテ、
刑事法典ヲ再建設致シマシテ、之ヲ改正
スル準備委員會ト云フモノガ司法省ニ設ケ
ラレマシテ、實ハ其ノ委員會ニ只今御話ノ
アリマシタ點等ヲ附議致シマシテ、サウシ
テ十分ニ案ヲ練リマシテ、從來議會等ニ於
テ反對ノ御意見ノアツタコト等モ十分斟酌
致シテ、又如何ナル程度ニ於テ強制ノ力ヲ
與ヘルカト云フヤウナ妥當ナ點ニ落着キヤ
ウナ案ガ欲シイト思ヒマシテ、是ハ研究ヲ
致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ現在ハ
左様ナ、特ニ治安維持法、國防保安法ニ於ケル
如ク檢事ニ強制ノ力ハゴザイマセヌガ、瀆
職罪ノ檢舉ト云フコトニハ出來ルダケカラ
用ヒナケレバナラヌト云フコトハ御説ノ通
リデアリマス、瀆職罪ハ收賄者贈賄者ノ間
ニ隱密ノ關係ニ於テ行ハレ、之ヲ否認セム
トスル事件デアリマスガ、假ニ統制經濟ニ關
スル官吏ノ瀆職ガアリマス、唯現ハレタ
事實ダケデハ事件ヲ終了サシテ居リマセヌ、
必ズ惡質ノ犯罪ニナツテ來マス、エト云
フ收賄者ノ官吏ガアリマス、エト云フ
者ト「ビ」ト云フ者ノクツ附キガ出來テ
來ル「エ」ヲ調ベマス、ト「ビ」ノ外ニ、
「シ」カラ貫ツテ居ル、「デ」カラ貫ツ
テ居ル、一人ノ官吏ニ澤山ノ贈賄ノ者ガ出
テ來ル、ソレヲ嚴重ニ調ベル、一人發覺シ
タ場合ニ、他ノ者カラ段々貫ツタコトガ、偶
ニハ數十人ニナル場合ガアル、學校事件
デハ數十人ニナツタ、サウ云フヤウニ贈
賄者ガ段々殖エテ來ル、サウ致シマス

ト、贈ツタ方ヲ段々調ベル、贈ツタ方、
例ヘバ「エ」ト「ビ」ト云フ者ガ初メニ現
ハレテ來ルト、「エ」ニ付テ其ノ他カラ貫
タ者ガナイカ、「ビ」ト云フ者ガ出
テ來ル、今度「ビ」ニ付テ調ベルト、今度甲
乙丙ト云フ者ノ贈賄シタト云フ事實ガ分ッテ
來ル譯デス、サウ云フ關係ヲ辿リ辿ッテ今日
迄瀆職罪ト云フモノハ搜查フシテ居ルノデア
リマス、ナカ／＼端緒ヲ得難イノデアリマ
スガ、マア色々ナコトカラ端緒ト云フモノ
モ現ハレテ參リマスノデ、一旦端緒ヲ握リ
マシタ以上ハ徹底的ニ檢舉致シテ居ル譯デ
アリマス、今日ノ現在ノ狀態ト致シマシテ
ハ、只今申上ゲマシタヤウナ搜查ハ、今日
ノ法制ノ下ニ出來ルダケノ努力ヲシテ居ル
ト云フダケハ一應御認メテ願ヒタイト思ヒ
マス、尙先程申上ゲマシタ通り、檢事ノ一
般犯罪ニ付キマシテ強制捜査力ヲドノ程度
迄付與スルノガ妥當デアルカト云フコトニ
付キマシテハ十分研究シテ成案ヲ得タイト
思ッテ居リマス、左様ナ考ヲ持ッテ居ルト云
フコトダケ……

○次田大三郎君 私ハ此ノ官吏ノ瀆職罪ニ
付テ、先年來非常ニヤカマシイコトヲ申上
ゲマシタガ、實際官紀ガ紊レテハモウ國ノ
政治ガ駄目ダト云フ風ニ考ヘルカラナノデ
アリマス、東西ノ偉イ皇帝、政治家ノヤツ
居ルコトヲ調ベテ見マスルト、大抵刑ハ輕
クスル、併シナガラ瀆職罪ハ非常ニ重ク罰
スルト云フノガ、例ヘバ宋ノ太祖ニ致シマ
シテモ、明ノ太祖ニ致シマシテモ、ミンナ
贓罪ト云フモノハ非常ニヤカマシク極刑ヲ
以テ處斷シテ居ルノデアリマス、是ハ官吏
ノ信用ヲ維持スル爲ニ絕對ニ必要ナ、官憲
ノ信用ヲ維持スル爲ニ絕對ニ必要ナコトデ
アリマス、處デ今日ノ世相ヲ見マスルト、
例ヘバ新聞、雜誌ハ役人ノ惡口ヲチツトモ書
カナイ、是ハ役人ノ惡口ヲ言フ種ガナクナ
ツタ譯デハナイノデ、所謂記事ノ統制ヲサ
レマシテ、官吏ノ惡口ヲ書クト印刷用紙ヲ
減ラサレルト云フヤウナコトガアルノダサ
ウデスガ、兎ニ角輿論ノ制裁ト云フモノガ
今日殆ド全クナイト云フモ宜イノデアリマ
ス、官吏ノ不正行爲ニ對スル輿論ノ制裁ハ殆
ドナイ、ソレカラ以前ハ議會デ非常ニ官吏
ノ紀律ニ付テ、所謂官紀肅正ト云フコトヲ
ヤカマシク言ツタ時代ガアル、今日ハモウ政
黨ノ迫力ガスツカリ無クナツテ、議會デモサ
ウ云フ問題ニ付テ論議スル者ガ非常ニ少ク
ナツタ、サウスルト此ノ官吏ノ瀆職ヲ咎メル、
官紀ノ維持ヲ檢討スルト云フノハ、行政官
廳ノ監督ノ作用ガ其ノ一ツ、ソレカラ司法
權ノ發動、モウ是レニツシカ殘ッテ居ナイ、
處ガ行政官廳内部ノ監督ニナリマスルト云
フト、近頃ハドウモ何々局長トカ何々部長
トカ云フ上ノ役人ガ惡イコトヲナサル場合
ガアル、下ノ官吏ノ取締ガ出來ル筈ガナイ、
マア非常ニ不十分ダト言ハナケレバナラス、
私共ガ國民トシテ官紀ヲ嚴肅ニ維持シテ貫
ヒタイト云フ其ノ事柄ハ、今日デハ一ニ司
法權ニ頼ルヨリ外ナイノデヤナイカト云フ
風ニ感ジテ居ルノデアリマス、ソコデ私共
ハ司法當局ガ瀆職罪ニ對スル刑ヲ加重サレ
ルノハ甚ダ結構デアリマスガ、ソレト同時
ニ搜查トカ檢舉トカ云フコトニ、一ツ國民
ノ輿望ニ應ヘテ眞劍ニ御當リテ願ヒタイ、
斯ウ云フ希望ヲ申添ヘテ私ノ質問ヲ終リマ
ス

○國務大臣(岩村通世君) 只今瀆職罪ト云
フモノハ、現在ノ情勢ニ於テ十分司法權ノ
發動ノ下ニ檢舉取締ヲシナケレバナラヌト
云フ御考ニ付テハ私モ同感デアリマス、殊
ニ今回ハ刑モ加重セラレルコトニナリマシ
タノデ、此ノ點、特ニ意ヲ用ヒナケレバナラ
ヌ事柄デアリマス、十分瀆職罪ノ檢舉ニ努
メテ見タイト思ッテ居リマス、ソレダケ御答
ヘ申上ゲテ置キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ午前
ハ此ノ程度ニ致シテ休憩致シタイト思ヒマ
ス、午後一時半開會致シマス
午前十一時五十四分休憩

午後一時三十七分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 午前ニ引續イ
テ委員會ヲ開會致シマス

○國務大臣(岩村通世君) 午前ニ次田サン
ヨリ會期ノ點ニ付テ御尋ネガアリマシテ私
カラ御答ヲ申上ゲマシタガ、政府ノ考トシテ
ドウ云フ事情デ三日間ノ奏請ニ及ンダカト
云フコトニ付テ、モウ少シ説明ヲスルヤウ
ニト云フヤウナ御話ガアリマシタノデ、私
共三日間ノ奏請ニ及ンダ事情ニ付テ、更ニ
政府トモ其ノ當時ノ事情ニ付テ色々話シ合
テ見タノデアリマスガ、結局其ノ理由ハ、
今回ノ臨時議會ハ御承知ノ通り緊迫セル決
戰態勢ノ下ニ於テ、特ニ御召集ヲ仰イダモ
ノデゴザイマス、左様ナ情勢ニ鑑ミマシ
テ、會期ハ短イコトヲ要スルモノト考ヘマ
シテ三日間ノ奏請ニ及ビマシタ次第デゴザ
イマス、ドウゾ此ノ點ヲ御了承願ヒタイ
ト思ヒマス

○次田大三郎君 私ハモウソレデ宜シウゴ
ザイマス

○小山松吉君 略式命令ノ點ニ付テ御尋ネ
致シマスガ、現行法デハ、區裁判所ニ於テ

發スル略式命令ハ、罰金又ハ科料ト云フコトニ限定シテアリマスガ、今回ノ改正案ニ依リマスルト、二十九條ノ二ニ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ拘留ヲ科スルコトガ出來ルト云フコトニ擴張サレテアルノデアリマスガ、是ハ事案ノ内容ガ單純デアツテ、犯罪ノ成立ガ明白ナリト認ムル事件ニ付テ略式命令ヲ發スルト云フデアリマスカラ、此ノ位ノ程度ノ擴張ハ宜イト思ヒマスルガ、第二項ニ掲ゲテアリマス昭和五年法律第九號、第二條及第三條ノ窃盜ノ罪其ノ他ノ罪ニハ、可ナリ内容ノ單純デナイモノガアルト思フノデアリマス、殊ニ昭和五年法律第九號ノ常習犯罪、兇器ヲ携帯シテ犯シタト云フヤウナモノニ付テハ、ドウモ一見明瞭デナイト思ハレルノデアリマスガ、斯ウ云フモノヲ現行法ノ略式命令ノ規定ノ精神ニ依ツテ加ヘマスト云フト、略式命令ガ立法ノ當時考ヘタヤウナ簡單ニ濟マナイノデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ第二項デハ三年以下ノ刑迄刑期ヲ高メテ居リマスガ、之ニ付テノ司法當局ノ御考ヲ伺ヒタイ、チヨット分ラナイ所ガアリマスノデアリマス持ツテ居ルノデアリマス、御尋ネ致シマス

○政府委員(大森洪太君) 御指摘ノヤウニ現行ノ略式手續ハ金刑ノ事件ニ限ツテ居ルコト申上ダレモ、ナインノデアリマス、之ヲ今般體刑ノ或程度ニ迄及ボサウト云フノデアリマシテ、ソレハ勿論矢張り御示シナリマシタヤウナ二ツノ要件、事案ノ内容單純デアアルモノ及ビ犯罪ノ成立明白ナリト認メラレルモノ、之ニ限ルコトハ言フ迄モナイノデアリマスルケレドモ、今現レテ居リマスル事案ヲ見マスルニ、體刑ニ當リマスル事案デモ斯様ナ條件ニ該當致シマスル

モノガ相當アルヤウニ思フノデアリマス、サウシテ内容ガ單純デアアル、犯罪ノ成立ガ明白デアツテ、而モ第一審限りデ確定スルト云フ事件モ相當多數アルノデアリマス、デアリマスルカラ、左様ナ實際ノ狀態ニ照シマシテ、若シソレ等ガ區裁判所ニ於テ略式命令デ宜シイト云フ見極メガ付イタ時ニ、略式命令デ濟ミマスルナラバ、事甚ダ簡素ニ取運ビマスルカラ、ソレデ宜カラウト思フタノデアリマス、固ヨリ今日略式命令デ正式裁判ノ申立テヲ爲スモノハ極メテ比率ガ少イノデアリマス、是ハ要スルニ金刑デアリマスルカラ左様ニ相成リマセウガ、體刑ニ及ビマスルト、少クトモ體刑ニ該當シマスル部分ハ今日ノヤウナ比率デナク、正式裁判ノ申立テハ、今日ヨリモ多イコトハ是ハ豫想ガ出來ルノデアリマス、ソレニ致シマシテモ只今申シマシタヤウナ實情カラ申シマシテ、矢張り第一審限りデ確定スルト云フモノモ相當アリマスカラ、相當ノ效果ハアルト思フノデアリマス、即チ今日ノ金刑ニ於ケル時代程ノ效果ハアリマスマイケレドモ、ソレデモ尙且若干ノ效果ガアリマシテ、サウシテ我々ノ方ノ手ニ餘裕ヲ生ズルコトハ間違ヒガナイ、斯様ニ思ヒマシテ立案ヲシタ次第デアリマス

○小山松吉君 今ノコトニ關係ガアリマスルカラ、モウ一ツ御尋ネ致シマスルガ、略式命令ヲ檢事ガ請求シマスル場合ニハ刑期ヲ指定シテ、何月トカ、何年ノ刑ニ處スベキモノダト云フ趣旨デ、檢事ノ方カラソレヲ明カニ示スノデゴザイマスカ、或ハ唯ボシヤリ、略式命令ヲ請求スルノデ、區裁判所ノ方デハ其ノ請求ニ依ツテ刑ヲ自分デ盛テ宜イノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ一ツ御

尋ネ致シマス

○國務大臣(岩村通世君) 實際ノ運用ト致シマシテハ檢事ノ見ル所ノ刑、或ハ金額ト云フモノヲ記載スルノハ私ハ宜イノデヤナイカト思ヒマス、ソレハ通常ノ公判ニ於キマシテモ檢事ハ求刑ヲスルノデアリマスカラ、檢事ノ見ル所ヲ示スコトハ私ハ宜イノデヤナイカト思フテ居リマス、併シ裁判長ノ獨自ノ考ヲ以テ判斷スルノデアリマスカラ、或ハ略式命令ハ不相當デアレバ公判ヲ開クト云フヤウナコトニナツテ行クヤウナ運用ニナラウト思ヒマス

○小山松吉君 モウ一ツ小サイコトデスガ、今度ノ改正案ニ依ツテ略式命令ニ於テ、刑ノ執行猶豫ヲ言渡スコトニナツタノデアリマスガ、此ノ刑ノ執行猶豫ヲ言渡シテ貰ハウト云フ時ニハ、檢事ガ矢張り請求シナケレナイケナイノデセウカ、黙ツテ居ツテモ區裁判所ハ職權ヲ以テ執行猶豫ノ言渡ガ出來ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ

○國務大臣(岩村通世君) 執行猶豫ハ檢事カラ請求スルコトモアラウカト思ヒマスガ、請求致サナクテモ、裁判所ノ見ル所ヲ以テ執行猶豫致シテ構ハナイト思ヒマス

○小山松吉君 了承致シマシタ

○小原直君 昨年成立シマシタ裁判所構成法戰時特例ノ第一條ニ於テ、戰時ニ於ケル裁判所構成法ノ特例ハ本法ノ定ムル所ニ依ルト云フ特例ガ出タノデアリマスガ、今回出タ戰時特例改正案ハ其ノ前年ノ分ニ對スル改正案デアリマスルカラ、昨年ノ同法ノ審議ノ時ニハ勿論質問應答ニ出タコトト思フノデアリマスルケレドモ、モウ一度御尋ネ申シテ置キタイコトハ、要スルニ裁判所構成法戰時特例ノ第一條ニ規定シテアル

コトハ、此ノ度ノ大東亞戰爭ニ於テ、特ニ此ノ例ヲ用フルト云フコトニナルベキ筈デ、從ツテ大東亞戰爭ガ終了シマシタ後、適當ナ時ニ於テ、此ノ裁判所構成法戰時特例ト云フモノハ、廢止セラルベキモノデアアルト云フコトニ考ヘテ居リマス、其ノ點ハ如何デスカ

○國務大臣(岩村通世君) 御尋ノ通りデゴザイマス

○小原直君 所デ今度ノ改正案ノ第四條ヲ以テ從來ノ司法ノ原則ノ三審制度ヲ變更セラレテ、第一審ノ判決ニ對シテハ、民事、刑事ヲ問ハズ全般的ニ控訴ヲ爲スコトヲ得ズト云フ規定ニ改マルノデアリマス、裁判所ノ三審制度ハ我國ノ司法權ノ確立以來、司法ノ大原則トシテ定ツテ居ル所デアリマシテ、要スルニ是ハ民事刑事ヲ問ハズ、民人ノ權利義務ニ重大ノ影響ヲ持チ、生命身體自由竝ニ財產ニ關スル重大ノ影響ヲ及ボスノデアリマスカラ間違ヒノナイヤウニ念ニモ念ヲ入レテ、三審ヲ許シ、控訴ヲ許シ、上告ヲ許ス、サウシテ其ノ間ニ於ケル誤ヲ正シテ、苟クモ民人ノ權利義務ニ間違ヒノナイヤウニシヨウト云フ趣旨デ、制定セラレタモノデアアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、一般行政法ノ監督、或ハ行政權ノ執行ノ處分等ニ關スル誤ヲ正ス上ニモ、勿論種々ノ手續ガ規定セラレテ居ルノデアリマスルガ、特ニ司法ニ於テ、行政ニ比シテ尙一層念ヲ入レテ、裁判ノ三審制度ヲ採リ、又司法行政ノ監督ノ上ニ於キマシテモ、行政權ノ監督ヨリハ一層段階ヲヨタクシテ、誤ヲ正スヤウニ規定サレテ居ルノデアリマス、是ハ單リ日本ノミナラズ、外國ノ文明諸國ニ於テモ亦同様ナ前例ヲ有ツテ居ルノデア

リマスルガ、今回ノ戰爭ニ於テ特ニ我國ニ於キマシテハ此ノ司法ノ大原則ヲ變更シテ民事、刑事ヲ問ハズ、第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ザルヤウニ改メルト云フコトハ、極メテ重大ナコトデアアルト思フノデアリマス、然ルニ一面ニ於テ、司法裁判ノ成績ヲ表ニ依ッテ拜見致シマスルト、先程質疑應答ノ中ニモアリマシタヤウデ、民事ニ於テハ、第一審ノ判決ニ對シテ、控訴審ニ於テ原判決ヲ變更シ、又ハ取消ヲ致スモノガ三割何分、又刑事ニ於テモ同様ニ相當多數ノ原判決ト異ナル判決ヲ言渡ス實績ガ出テ居リマス、斯様ナコトヲ見マスルト、ドウシテモ民事ニ於テモ、刑事ニ於テモ、矢張り二審ヲ終ヘテ控訴ヲ許スト同時ニ、更ニ法律上ノ誤リヲ正ス意味ニ於ケル上告ヲ許スト云フ制度ハ、ドコ迄モ之ヲ繼續シテ行クコトガ大切デアアルト思フノデアリマス、唯昨年國防保安法ガ出マシタ時ニ、治安維持法ノ改正案ガ出マシタ時ニ、初メテ一審ノ判決ニ對スル控訴ヲ許サナイト云フ規定ガ設ケラレタノデアリマス、當時私共ハ此ノ司法ノ三審ノ大原則ヲ變更スルトハ、時期ヲ得ザルモノトシテ修正ヲ主張シタノデアリマスケレドモ、其ノ希望ハ容レラレナカッタノデアリマス、當時考ヘテ居タコトハ、要スルニ一度司法ノ大原則ガ變更セラレル場合ニハ、詰リ堤防ノ一角ハ決潰シテ、遂ニ全部全ク決潰スル結果ヲ生ズルデアラウト云フコトヲ憂ヘタガ爲ニ、此ノ國防保安法等ニ於ケル三審制度ノ變更ヲ改メルガ宜シイ、三審制ヲ變更スルコトヲヤラナイガ宜シイト云フコトヲ主張シタノデアリマス、ソレハ只今申上ダグヤウナ、第一審ノ判決ニ對スル控訴審ニ於ケ

ル判決ガ、原判決ト異ツク判決ヲ爲ス比率ガ相當多イノデアリマス、此ノ多イノハ、即チ裁判ノ第一審ニ誤リノアルコトヲ示スノデアリマスカラ、今回ノ裁判所構成法戰時特例ニ於テ全般的ニ控訴ヲ許サナイヤウニ爲サルト云フコトハ餘程重大ナ變更デアアルト思フノデアリマス、從ッテ苟クモ戰爭ガ終リマシタナラバ、此ノ制度ハ改メラレテ、又再ビ從來ノ裁判ノ三審制ヲ執ラレルヤウニ改正サレルコトガ適當デアラウト思フノデアリマスガ、ソレハ今御答辯ニアリマシタヤウニ、戰爭ガ濟メバ當然サウスルノデアルト云フ御話ガアリマシタガ、其ノ他ノ治安維持法ニモアリ、殊ニ國防保安法ニハ、第十六條ノ規定ニ於テ、國防保安法ノ罪ノミナラズ、同條ノ第二項デハ、其ノ他廣イ範圍ニ於テ通謀犯等ノ罪ニ至ル迄控訴ヲ許サナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ國防保安法ノ如キモ戰時ニ於ケル一ツノ特殊ノ法律デアリマスカラ、戰爭ガ止ミマシタナラバ、是等ノ罪ニ付テ三審制度ノ變更、即チ控訴ヲ許サザル制度ヲ併セテ改メラル、御意向ガアリマスカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、恐クハソレハ又其ノ時ニ考ヘルノデアルト云フ御答辯ニナルカモ知レマセヌガ、併シ此ノ三審制度ノ大原則ヲ戰時ニ於テ特ニ用ヒルト云フ以上ハ、戰爭ガ熄シタナラバ、矢張り司法ノ大原則ニ立戻ル方ニナサル方ガ宜シイノデヤナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、其ノ點ニ關スル司法當局ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス。

○國務大臣(岩村通世君) 只今御尋ノ通り、三審制度ハ、大體今日迄ノ司法制度ノ原則デアリマス、ソレヲ今回全般的ニ二審制度ニシヨウト云フノデアリマスカラ、非常ニ重大ナル變更デアルト云フコトハ、只今御述ベノ通りデゴザイマス、尙此ノ事ハ、非常ニ變革デアリマスカラ、戰爭目的遂行ノ爲メ執ルベキ處置デアリマシテ、大東亞戰爭ガ終リマシタラ元ノ制度ニ復スルト云フコトハ此處デ申上ダテ置キタイト思ヒマス、唯國防保安法ト治安維持法ヲ如何ニスベキカト云フコトハ先程モ御話ガアリマシタ通り直チニ今回ノ二審制度ノモノト同ジヤウニ考ヘルカドウカ、ト云フコトニ付テハ實ハマダハッキリ決定致シテ居リマセヌ、併シ治安維持法ト云フモノモ是モ矢張り時勢ノ產物デアリマスシ、治安維持法ノ事件ハ殆ドナクナルトカ、或ハ國防保安法ノ如キ重要機密ト云フヤウナモノガ戰爭デモ濟ンダラ殆ド其ノ心配モナイモノダト云フコトニナリマシタナラバ、是ハマア制度ヲ通常ノ制度ニシテ宜イカドウカト云フヤウナ問題ガ議セラレルコトニナルンデヤナイカト思ヒマス、只今ノ所デハマダハッキリ決メテ居リマセヌ、マア極端ナコトニハナリマスガ、一審制度ト云フモノガアル譯デアリマス、是ハ結局其ノ三審制度、二審制度、一審制度ト云フモノハ今日内亂罪ニハ御承知ノ通りアル譯デアリマス、一度調べルカ二度調べルカ三度調べルカト云フコトハ、調べルモノノ責任ト云フコトモ非常ニ關係ガアルンデヤナイカ、内亂罪ハ一審罪デアリマスガ、老練ナル判事ガ今日デハ五名デ部ヲ組織シテ判斷スル、マア之ニ依ッテ内亂罪等國家ノ重大ナ事案ハ處理セラレルト云フコトニナル、然ルニ一審制度、二審制度、三審制度ト云フ三ツノ制度ガ今日實際行ハレテ居ル、今回ハ戰爭中ハ特ニ

事件ノ適正ヲ期スルコトハ勿論デアリマスガ、此ノ戰時下ニ事件ノ遅延ト云フコトヲ出來ルダケ避ケタイト云フ考ガゴザイマス、又是ハ司法部ノ方カラ考ヘルノミデヤナク實際民刑トモデス、裁判ヲ受ケル方カラモ實ハモツト早く、何トカ決マリ付ケテ貰ヒタイト云フ氣持モ隨分私共一般カラ聽イテ居リマス、是ハマアナントカシテ、サウ云フヤウナ一般ノ希望ヲモ達シタイト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、ナカノ名案モナイ譯デアリマス、マア極端ナ刑事事件ナドノ例デ見マスルト、日本ハ三審制度デアルガ、六遍調べラレル、マア大概ノ事件デハ、司法警察デ一遍、檢事デ一遍、豫審デ一遍、一審、二審、三審ト六回モ調べラレル、ドウモ同ジコトヲモ六回モ調べラレルト、後ニハ記憶ガ無クナツタリ、薄クナツタリシテ間違フ言ツタリスル、關係人ノ重要ナモノハ六回モ……關係人ガサウ云フ六回モ調べラレルコトハ少イカモ知レマセヌガ、ドウ云フヤウナ關係カ數回調べラレルト云フヤウナ、随分迷惑スルト云フヤウナコトモ同フコトモアリマス、要スルニ私ハ一般ノ原則トシテハ戰爭デモ濟ミマシタナラバ三審制度ニ戻ル、是ハ宜イト思ヒマスガ、戰時中ニ二審制度ニスレバ出來ルダケ深切ニ事實ノ調、證據ノ取調トカト云フモノニ付テ、責任ヲ以テ從來ノ事實ハ二度調べラレルト云フヤウナ考ヲ無論持ッテハイケナイノデアリマスカラ、一審ノ判事ハ非常ニ重イ責任ヲ負擔シマスカラ、出來ルダケモウ全力ヲ擧ゲテ事實ノ審理スルト云フコトニ私ハナルノデヤナカラウカ、又サウアツテ欲シイト私ハ考ヘテ居リマス、ソレニ致シマシテモ矢張り制度ノ擔保ト云

フコトガアリマスカラ二度ヨリモ三度ノ方
ガ宜イ、同ジ熱心ニ調ベルノデモ一度ヨ
リモ二度調ベル方ガ宜イト云フ根本論ハゴ
ザイマス、ソレハ三審制度ト云フモノガ現
在採用セラレテ居ル所以デアルト考ヘマス
ガ、何ト申シマシテモ實ハ今回ノ戰爭モ相當
熾烈ニナツテ参リマスシ、實ハ判檢事ノ人
數ニ於キマシテモ、近頃應召モ非常ニ多イ譯
デアリマス、恐ラク戰爭ノ模様デアリマス
ゲレドモ、來年ハ相當數ノ判檢事ノ應召ト云
フコトガ、アリハシナイカト考ヘテ居リマ
ス、斯様ナ場合ニ、少イ人數ヲ以テ責任ヲ
持ツテ、出來ルダケ努力ヲシテ、事實ノ認定
ニ基イテ正シク法律ヲ適用スル、サウシテ成
ルベク訴訟ノ遅延ト云フ弊ヲ、戰時中ダケ
ハ、是非無イヤウニシタイト云フヤウナコ
トカラ、今回ノハ非常ナ變革デアリマスガ、
斯様ナ案ヲ出シタ次第デアリマス、ドウカ
其ノ事情ヲ御了承賜ハリタイト思ヒマス

○小原直君 今當局ノ御意見ニ依ツテ、戰
争ガ濟メバ、原則トシテハ三審ニ戻ス意向
デアル、ト云フコトヲ伺ヒマシタノデ、私
ノ考ハ當局ノ意向ト同ジコトニナル、ト云
フ風ニ思ツテ居リマス、御答辯デ了承致シ
マシタ、モウ一ツ、是ハ法文ノ解釋ノヤウ
ニナルノデアリマスガ、今度ノ改正法デ、
裁判所構成法戰時特例ノ第四條デ、「第一審
ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ズ」、
斯ウ云フ風ナ原則ヲ決メマス、從來ノ治
安維持法及國防保安法ニ於テ、「第一審ノ判
決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ズ」ト云
フコトガアリマスガ、ソレハ今度トナラノ
方ニ依ツテ定マルノデアルカ、要スルニ此
ノ二法ニアル條文ハ、今度ノ裁判所構成法
戰時特例ノ第四條ニ吸收サレテシマフノデ

スカ、ソレハドウ云フ風ニ御解釋ニナリマ
スカ
○政府委員(大森洪太君) 只今御指摘ノ治
安維持法及國防保安法ノ審級ノ問題デアリ
マスガ、國防保安法及治安維持法ニ於キマ
シテハ、御承知ノ通り第一審ニ對スル上告
ハ、常ニ上告裁判所即チ大審院トナツテ居
リマス、併シ今回ノ此ノ案ノ第四條ニ依リ
マシテ、二審級ニナリマス、サウシテ此ノ
案ニ依ツテ矢張り區ノ事件ハ控訴院、地方
裁判所ノ事件ハ大審院、一律ニスル積リデ
アリマス、御承知ノヤウニ現行裁判所構成
法戰時特例ニ於キマシテ、一審級ニナツテ
居ル事件ガアリマスケレドモ、是ハ現行法
ノ第四條ニ依リマシテ、各種ノ罪ヲ列掲致
シマシテ、此ノ種ノ罪ニ當ル事件ハ云々、
斯様ニ規定致シテ居リマスカラ、現ニ二審
級ニナツテ居リマス事件ハ、此ノ現行法ノ
第四條ニ依リマス、サウシテ治安維持法及
國防保安法ノモノハ、各二種ノ法律ニ依リ
マシテ、其ノ儘ニナツテ居ル譯デアリマス
ガ、今回ハソレヲ一丸ト致シマシテ、即チ
此ノ案ニ依ツテ、一審級及二審級ト云フコト
ガ決ル譯デアリマス、併シ形式的ニ申シマ
スト、國防保安法及治安維持法ハ永久法デ
アリマスシ、今回ノ案ハ戰時法デアリマシ
テ、戰時特例トシテ、戰時特例ノ適用ヲ受
ケルモノ、斯様ニ心得テ立案ヲシタ次第デ
アリマス

ト、ソレガ統一サレル迄ノ間ニ行ハレル判
決ニ對シテ、何カ御手當ガアリマスカ、ソ
レヲ承リタイ
○政府委員(大森洪太君) 御示ノ通りニ控
訴院ガ上告裁判所ニナリマスレバ、而シテ
全國ニ七ツノ控訴院ガアリマスカラ、從ッ
テ判例ガ區々ニナルト云フコトハ、起リ得ル
ノデアリマス、是ハ併シ勿論法律解釋ノ統
一トシテ、望マシカラザルコトデアリマスカ
ラ、現行裁判所構成法戰時特例ノ第六條ニ
依リマシテ、左様ナ場合ニ控訴院ハ、既ニ
抵觸シタ判例ガアル、又自分ノ方デ新タナ
ル判例ヲ作リタイ、斯様ニ思ヒマシタナラ
バ、事件ヲ逆ニ、控訴院カラ大審院ニ移送
ヲ致シマシテ、大審院デ裁判ヲシテ貫フト云
フ途ヲ拓イテ置キマシタ、此ノ第六條ノ規
定ハ、此ノ案ニ於テモ踏襲サレルノデアリ
マスカラ、事件ヲ大審院ニ移送スルト云フ
コトニ依ツテ、法律解釋ノ一致ヲ期シテ行キ
タイト存ジテ居リマス、是ガ第一點デアリ
マス、次ニ御質問ニ相成リマシタ此ノ法律
解釋ノ統一ヲ此ノ規定ニ依ツテヤリマスカ
ラ、既ニ現ニ抵觸シタ判決ガ二ツアルト云フ
コトガアル、抵觸シテ居ルコト、甚ダ宜シ
クナイノデアリマスケレドモ、何レモ有效
ナル判決デアリマス、當該事件ニ付テハ、
ソレノ判決ガ效力ヲ生ズルト、斯様
ニ御了承願ヒタイト思ヒマス、尙序デア
リマスカラ、只今申述ベタ第六條ノ移送
ノ事件デアリマス、過去一年半實施ヲ致シ
マシタ其ノ間ニ於キマシテ、刑事ニ付キマ
シテ僅カニ一件移送ガアリマシタ、民事ニ
付テハマダ一件モナイヤウデアリマス、即チ
其ノ途ハ既ニ拓カレテ居リマスカレドモ、
左様ナ事件ニ該當シタト云フコトハ、右申

シタ極メテ稀有ノ例デアルノデアリマス
○子爵秋月種英君 私、或ハ事務的ノコトニ
ナルカモ知レマセヌガ、一、三御尋ネ致シタイ
ト思ヒマス、區裁所ノ權限ガ發表サレマシタ
結果、自然ドウシテモ區裁判所ニ事件ガ多
クナルコトト思ヒマス、ソレニ付キマシテ
仁井田博士ノ御質問ニナリマシタ通り、監
督判事ト云フモノニ付テハ、十分老練ナ監
督判事ヲ御選ビニナルト云フヤウナコトナ
ドモ、御尋ネシタイト思ツテ居リマシタ、幸
ヒ御質問ガアリマシテ了解致シマシタ、ソ
レニ付キマシテ私ガ御尋ネ致シタイノハ、
現在區裁判所デ事務停止ニナツテ居ル所ガ
相當アルガラウト思ツテ居リマスガ、サウ云
フ所ハ多少復活サレルト云フヤウナ、御準
備ガアリマシタノデスカ
○政府委員(大森洪太君) 現在事務停止ニ
ナツテ居リマスルノハ、此ノ戰爭下、已ムヲ
得ザル必要ニ基キマシテ、即チ交通ノ關係
又ハ人員ノ配置ノ關係、或ハ判檢事ニ餘裕
ヲ生ゼシメタイ關係、ソレ等種々考慮ノ上
デアリマシテ、先ヅ今日ノ現狀ニ於テ、事
務停止ノ復活ハ致サナイ積デアリマス、併
シ事情激變スルト云フコトモアリマセウカ
ラ、此ノ入替等ニ付テモ、考ヘナケレバナ
ラスコトガ起ツテ來ルカモ知レマセヌ、併シ
現在ノ處、成ルベク事務停止ノ復活ト云フ
コトハ差控ヘタイ、斯様ナ方針デ臨ミタイ
ト存ジテ居リマス

○子爵秋月種英君 モウ一ツ是ハ直接案ト
關係ガナイカモ知レマセヌケレドモ、折角
斯ウ云フ戰時特例ノ裁判制度トシテハ、大
キナ改革ヲサレマシタ、法律ガ出マス以上ハ、
是ハ十分徹底スルヤウニシナケレバナラヌ
ト思ツテ居ルノデアリマス、又サウナラナ

ケレバ、折角法律が出来テモ其ノ效ガナイノデアル、ソレニ付キマシテ私ガ特ニ感ジテ居リマスノガ、裁判所ノ管轄區域ト云フモノガ、現在ノ社會情勢カラ考ヘマシテ、交通其ノ他ノ點ニ於テ、非常ニ不便ナ所ガ多クアルダラウト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ何カ御考ガアリマスカ、是ハマア裁カレテ方カラ言ヒマシテモ、亦裁ク方ノ御方カラ見マシテモ、非常ニ御不便ガアルト思ヒマス、何カソレニ付テ御考ガアリマシタラバ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(大森洪太君) 現在ノ裁判ノ管轄ガ定マリマシテカラ、後ニ人口ノ異動、交通系統ノ變更等モアリマシテ、果シテ現在ノ管轄ガ良イカ悪イカト云フコトハ確カニ明言ハ出来ナイヤウデアリマス、場合ニ依リマシテハ、相當ノ不便ヲ民間ニ及ボシテ居ル所モアルヤニ恐察致スノデアリマス、デアリマスカラ私共ハ地元ノ監督官ト常ニ連絡ヲ執リマシテ、是等ノ點ニ付テ調査ヲ怠ラズヤツテ居リマス積リデアリマス、サウシテ必要ニ應ジマシテ、管轄區域ヲ變ヘルコトハ固ヨリ差支ヘナイノデアリマシテ、常ニ其ノ準備ヲ怠ラズニ居ルト云フ程度ノコトニ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御質問ハゴザイマセスカ……御質問ガナケレバ質問ハ之ヲ以テ終了致シタイト思ヒマス、是ヨリ討論ニ入りマス、三案ヲ一括致シマシテ議題ニ供シマス

○山岡萬之助君 私ハ此ノ法案全部ヲ、原案ノ通り賛成スル者デアリマス、唯一言付加ヘテ置キタイコトハ裁判ノ簡素化ト云フコトデ、二審制度ヲ全部廢メマシテ、事實上ノ關係ハ一審制度ニ止マルト云フコトニ

ナリマシタコトハ、段々質問應答ノ重ネラレタ間ニ御述ニナリマシタヤウニ、刑事ニ於テモ四十何「パーセント」輕クナツテ居ル、民事ノ方ハ相當裁判ガ變ヘラレテ居ル、此ノ救済ハ上告審ニ於ケル重大ナル事實ノ誤認ト云フコトニ依ツテ救ハレルガケニナリマス、然ラバ本案ヲ實施致シマスル際ニハ、ドウゾ司法當局ガ一審ト云フモノガ如何ニ重大デアアルカト云フコトヲ劃期的ニ考ヘ方ヲ變ヘマシテ、今迄ノヤウデナク、本當ニ徹底シタル一審裁判ヲナサルヤウニ、慣習付ケラレルコトヲ望ミマス、而シテ犯罪統計ノ面カラ御説明ニナリマシタ治安ノ問題デアリマス、現下決戰態勢ニ於テ國內問題ハ、治安ノ維持ト云フコト程重大ナコトハナイト思ヒマス、然ルニ昭和十二年支那事變勃發ヨリ次第ニ事件ハ減ジマシテ、是ハ國民ノ緊張ト云フコトカラ來テ居ルト思ヒマスガ、サウ云フ事態デ經過致シマシテ、段々減ツテ誠ニ幸ヒナコトデ、國民ガ此ノ大國難ニ際シテ左様デアッタコトハ誠ニ喜ブベキ事態デアリマス、然ルニ其ノ曲線ハ次第ニ増加致シマシテ、本年ニ入りマシテハ非常ニ上ツテ、此ノ歳末迄ニハ可ナリノ數ニナルダラウト云フ御報告デアリマス、私ハ此ノ犯罪ノ統計ノ變化ト云フモノカラ見マシテ、社會ノ不安状態ト云フモノハ兎ニ角、外ノ面カラモ考ヘネバナリマセヌケレドモ、此ノ面カラ見テ相當注意シナケレバナラス事態ニアアルコトヲ事實トシテ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、從ツテ司法當局ハ此ノ任ニ當ラレテ、内務當局ト共ニ此ノ非常時下ニ於ケル治安ヲ保持サレル次第デアリマス、何卒總テノ意味ニ於テ、假リニモ國內ノ治安ガ、マア言葉ヲ強ク致シテ

案亂ト云フヤウナコトヲ申シマスガ、サウ云フヤウナコトノ事態ノ惹起セラレザラムコトヲ、私ハ衷心ヨリ御盡力ヲ御願ヒ致シマシテ、本案ノ施行ニ付テハ違算ナキヲ期セラレムコトヲ望ミマシテ賛成ノ意ヲ表シマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御發言ゴザイマセスカ……ソレデハ採決ニ入りマシテ御異存ゴザイマセスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 三案ヲ一括シテ議題ニ供シマス、三案共原案通りデ御異議ゴザイマセスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナイト認メマス、可決スベキモノト決定致シマシタ、之ヲ以テ散會致シマス

午後二時十六分散會
出席者左ノ如シ

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 伯爵酒井 忠正君 |
| 副委員長 | 男爵伊江 朝助君 |
| 委員 | 公爵岩倉 具榮君 |
| | 侯爵筑波 藤麿君 |
| | 子爵秋月 種英君 |
| | 子爵大岡 忠綱君 |
| | 子爵舟橋 清賢君 |
| | 小山 松吉君 |
| | 小原 直君 |
| | 仁井田益太郎君 |
| | 黑崎 定三君 |
| | 男爵奥田 剛郎君 |
| | 男爵倉富 鈞君 |
| | 山岡萬之助君 |
| | 次田大三郎君 |

- | | |
|---------|--------|
| 國務大臣 | 岩村 通世君 |
| 司法大臣 | 大山 文雄君 |
| 陸軍法務中將 | 岡 敬純君 |
| 海軍中將 | 大森 洪太君 |
| 司法次官 | 齋藤 直一君 |
| 司法省民事局長 | 池田 克君 |
| 司法省刑事局長 | |

- | | |
|------|----------------|
| 政府委員 | 陸軍法務中將 大山 文雄君 |
| | 海軍中將 岡 敬純君 |
| | 司法次官 大森 洪太君 |
| | 司法省民事局長 齋藤 直一君 |
| | 司法省刑事局長 池田 克君 |